

第七次福井市総合計画の振り返り

(平成29～令和2年度の4年間の総括)

1 はじめに

(1) 本資料について

本資料は、第七次福井市総合計画（以下「七次総」という。）の計画期間である、平成29年度から令和3年度までの5年間のうち、令和2年度までの4年間における本市の施策等の主な実績や数値目標の達成状況、令和2年度に実施した市民意識調査結果を基に総括を行ったものであり、次期総合計画策定のための基礎資料として作成しました。

(2) 七次総の総括

次の4つの観点から、七次総の取組を総括しています。

- ・ 全体的な総括
- ・ 主な実績(分野、政策別)
- ・ 数値目標の実績
- ・ 市民意識調査結果

2 全体的な総括

七次総の計画期間では、平成30年度の福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催や、令和元年度の中核市移行及びふくい嶺北連携中枢都市圏の形成、また、北陸新幹線福井開業を見据え、福井を訪れる方々を迎え入れるためのまちづくりなど、福井の魅力を全国に発信し、本市が未来に大きく飛躍するための土台作りを進めてきました。

あわせて、頻発する自然災害に備えた強靱な地域づくりや、住民主体の地域活動への支援、子育て・教育環境のさらなる充実など、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向け取り組んできました。

七次総に掲げる4つの分野のうち、分野1「快適に暮らすまち」については、福井駅周辺土地地区画整理事業を31年2月に完了し、県都の玄関口にふさわしい都市拠点を形成することができました。また、再整備した中央公園では、福井では初となる本格的な野外音楽祭「ワンパークフェスティバル」が開催されるなど、新たなぎわいの創出につながっています。

分野2「住みよいまち」について、子育ての面では、保育園の改修や児童クラブの整備を進めるなど、子育て環境の充実を図りました。また、健康管理センター内

に母子保健の拠点として、妊娠・子育てサポートセンター「ふくっこ」を開設しました。産後の心身の不調や育児不安を解消するための産後ケア、育児指導を行うなど、妊娠から出産、子育てに至るまで、切れ目のない支援体制の構築に取り組んでいます。

福祉の面では、福井市手話言語及び障がい者コミュニケーション条例を制定しました。手話が言語であることへの理解と手話の普及を促進し、全ての市民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指しています。

生活困窮者に対しては、総合窓口自立サポートセンターよりそいを開設し、職業紹介を行うハローワーク窓口を併設しました。より多くの人に多様で柔軟な働く場を提供することで、経済的な自立につなげています。

分野3「生き生きと働くまち」について、観光の面では、本市を代表する観光地である一乗谷朝倉氏遺跡、まちなか、越前海岸における観光素材の磨き上げと魅力の発信に取り組んできました。そのかいもあって、令和元年5月20日に一乗谷朝倉氏遺跡、福井城址、養浩館庭園などが日本遺産として文化庁に認定されました。

分野4「学び成長するまち」では、将来を担う子どもたちに安全で良好な学習環境を提供するため、学校施設の計画的な更新、改修を進めました。

このように、4つの基本目標達成に向けて、さまざまな施策に取り組んだ結果、株式会社東洋経済新報社から発表された「住みよさランキング2020」において、本市は全国総合第5位と、県庁所在地、中核市では全国第1位と、高い評価をいただいています。

一方、課題としては、平成30年の記録的な大雪の対応に多額の経費を要したことにより、29年度一般会計決算において実質収支が赤字となったことが挙げられます。この点については、現在、財政再建計画を着実に実行し、収支均衡した財政構造の確立に向けて、改善を図っているところです。

また、総合計画実施計画に掲げた数値目標の達成状況については、29年度が73.9%、30年度は77.7%、令和元年度は75.8%でしたが、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった2年度は、様々な事業の中止を余儀なくされたことなどから、53.3%（見込）となりました。

このほか、令和2年度に実施した市民意識調査結果では、福井市に「住み続けたい」と回答した市民が、計画開始年度の平成29年度よりも4.2ポイント増加する結果となりました。

七次総の将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れるふくい」の実現に向けて様々な取組を進めてきましたが、次期総合計画の策定にあたっては、これまでの成果や課題をふまえ、北陸新幹線福井開業後の新たな人の流れを見据えたまちづくりや、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会・経済活動を両立する「新たな日常」に対応した、持続可能なまちづくりなどの視点から、検討を進めてまいります。

3 主な実績（分野別、政策別）

◆分野1 快適に暮らすまち

中心市街地のさらなる活性化に取り組むとともに、住みなれた地域で生涯充実した生活を送れるよう、地域資源を生かした個性豊かなまちづくりに取り組みました。

政策1 中心市街地に関する政策

●福井城址周辺の歩行者空間整備

福井駅から中央公園への動線となる福井城址周辺について、既存の桜を活かし、お堀の眺望を楽しめる歩行者空間を整備した。



●北陸新幹線福井開業に向けた環境整備

観光、経済、地域の活性化に大きな効果が見込まれる北陸新幹線福井開業に向けて、用地の取得や沿線地域の環境を整備し、開業準備を着実に進めた。



●福井市中央公園リニューアルオープン

「福井城址を中心とした、歴史を象徴し、人が集まる空間づくり」をコンセプトに、ビジターセンター御座所や堀割広場、堀跡噴水、遊びの広場を整備し、まちなかのにぎわいを創出した。



●足羽山公園遊園地の新動物舎「ハピジャン」オープン

足羽山の魅力向上を図るため、屋内型の動物舎「ハピジャン」を整備し、まちなかで市民や観光客が気軽に動物と触れ合える場を提供した。



●福井駅周辺土地区画整理事業の完了

平成4年から進めてきた福井駅周辺の土地区画整理事業を完了し、県都の玄関口にふさわしい活力と魅力ある都市拠点を形成した。



政策2 地域に関する政策

●「福井市応援隊」の結成

本市の魅力首都圏から発信するため、首都圏在住で、本市にゆかりや愛着・関心がある方々により「福井市応援隊」を結成。令和2年度末では、700名以上に参加いただいている。



●公共交通の拠点整備

鉄道利用者の増加と利便性向上を図るため、田原町駅周辺の広場、市役所前電停を整備した。多目的待合スペース「田原町ミュージアム」では「音」をテーマとしたイベントなどを開催し、にぎわいの創出に繋げた。



●越廼地区にサテライトオフィス開設

新たな人の流れの創出や地域活性化を図ることを目的として、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方を実践するテレワークの拠点となる「越廼サテライトオフィス」を開設した。



●お試し居住・お試しオフィスプログラム「日本海トライアルステイ」を実施

自然豊かな沿岸部の越廼地区を拠点に、福井で「働く」「暮らす」を体験できる都市圏在住者対象のお試し居住・お試しオフィスプログラムを実施した。



政策3 生活インフラに関する政策

●道路や水道など生活の基盤となるインフラを整備

安全で快適な生活環境を確保するための道路整備や、いつでもおいしい水を安定供給するための水道施設の整備や耐震化を進めた。



●快適な住環境の確保

耐震性が低い東安居団地の建て替えや、一般の木造住宅の耐震改修への支援を行い、安全な住環境の確保を図った。



●森田地区における土地区画整理事業が完了

森田地区において平成8年度から進めてきた区画整理事業を令和2年度に完了し、活気ある住みよい街並みを形成した。



●福井市ガス事業を民間事業者に譲渡

ガスの小売りが全面自由化する中、都市ガスを市民が将来にわたって安全に安心して利用できる環境を維持するため、ガス事業を民間事業者に譲渡した。



◆分野2 住みよいまち

女性が輝き、活躍できる社会の実現を目指すとともに、生涯にわたる健康づくりを支援するほか、環境にやさしく、また災害や事故に強い安全・安心なまちづくりに取り組みました。

政策4 女性活躍、多文化共生、協働、まちづくりに関する政策

●女性活躍や男性の育児家事への参画を促進

女性のキャリア形成についての意見交換を行うイベントを開催するなど、女性活躍の意識醸成を図るとともに、「イクメン」と家事をする男性「カジダン」の写真コンテスト等を通じて、男性の育児・家事への参画を促進した。



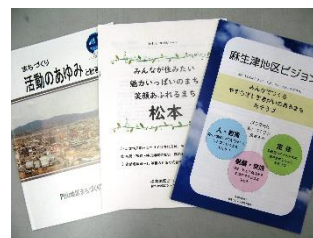
●スロベニア共和国とのホストタウン交流

東京オリンピック・パラリンピック競技大会参加国との相互交流を図る「ホストタウン」に、スロベニア共和国を相手国として登録され、来福したスロベニア代表選手との交流を実施した。



●地域住民が行うまちづくり活動を応援

住民が地域の特色や課題等を踏まえて将来像を描き、その実現に向けた取組を見える化した「地域未来づくりビジョン」の策定や取組を支援した。また、本市独自の取組として、ふるさと納税を地域活動に活用できる仕組みを創設した。



●市民のボランティア活動を支援

市民のボランティア活動への関心や意欲を高め、災害ボランティアなどの活動に結び付けていくための啓発活動やイベント等を実施した。



政策5 福祉に関する政策

●子ども医療費の窓口無料化を実施

安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図るため、中学3年生までの子どもの医療費を助成し、窓口無料化（自己負担金を除く）を実施した。



●妊娠・子育てサポートセンターを開設

健康づくりと母子保健の拠点として検診や相談の機能充実を図るため、健康管理センター内に、妊娠・子育てサポートセンター「ふくっこ」を開設した。



●「福井市手話言語及び障がい者コミュニケーション条例」の制定

講演会の開催や手話奉仕員養成研修の実施などを通じて、手話が言語であることの理解と手話の普及を促進した。



●生活困窮者支援総合窓口「自立サポートセンターよりそい」を開設

従来の生活相談に加え、就労支援を行う常設のハローワーク窓口を併設した総合窓口を開設し、ワンストップできめ細かな支援を実施した。



●地域保健の拠点となる福井市保健所を設置

中核市移行に伴い、移譲された権限を活用して市民に保健衛生サービスを提供するため、福井市保健所を設置した。



政策6 環境に関する政策

●環境にやさしいまちづくりを推進

「環境フェア」などのイベントを通じて、環境問題への関心を深める取組など、持続可能な社会の実現に向けた啓発活動を実施した。



●ごみ処理施設の整備推進

環境にやさしく、安全で災害に強い新たなごみ処理施設を整備するため、環境影響評価などを進めた。



●民間事業者と連携したフードドライブを実施

公共施設やスーパーなどにおいて、余っている食品を持ち寄り、必要とする施設や団体に寄付をする活動(フードドライブ)を実施した。



政策7 防災、安全安心に関する政策

●消防情報管制システムを整備

福井市消防局内に、多言語翻訳やスマートフォンのチャット形式での119番通報などに対応した消防情報管制システムを整備し、迅速かつ的確な消防・救急活動を実施した。



●災害時マンホールトイレの整備

災害時における避難所での衛生的な生活環境を確保するため、避難所に指定されている小学校に、断水時にも使用できるマンホールトイレを整備した。



◆分野3 生き生きと働くまち

若者が希望を持てる農林水産業の振興や、活力と魅力あふれる商工業の発展、おもてなしの心あふれる観光の推進など、誰もが生き生きと働くことができるまちづくりに取り組みました。

政策8 農林水産業に関する政策

●三里浜ドリームプロジェクトの推進

三里浜砂丘地におけるオリーブ栽培を成功に導き一大産地化、観光地化を目指すプロジェクトに取り組んだ。



●サクラマスの養殖事業を支援

「獲る」漁業から「つくり育てる」漁業への転換を進めるため、サクラマスの養殖事業の研究・実践に対し支援を行った。



●農林水産物の販路拡大を促進

大都市圏や台湾などにおいて商談会や販売促進会を行い、本市の農林水産物の魅力をPRし、販路拡大を促進した。



●森林整備の推進

令和元年度から施行された森林環境譲与税を活用し、森林整備を進めるための経費に対する支援や、担い手確保のための講習会の開催、木材の利用促進に向けた協議会の設立などに取り組んだ。



政策9 商工業に関する政策

●U・Iターン就職を促進

市内企業で働く魅力をPRするため、ふくいU・Iターンサマーキャンプや企業訪問ツアー、県との共催による合同企業説明会などを開催し、U・Iターン就職を促進した。



●創業機運の醸成

地域を活性化するビジネスの創出やベンチャースピリットの醸成を目的として、福井発！ビジネスプランコンテストを開催した。また、熱意ある起業家に対して初期投資費用の支援等を実施した。



●企業立地の推進

市外からの企業誘致や市内企業の事業拡大等に伴う企業立地の推進を図るため、企業訪問や東京での企業立地フェアへの出展などを実施した。



政策10 観光に関する政策

●ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場をリニューアルオープン

越前海岸における観光誘客の新たな拠点として、天然温泉を引いたログキャビン、車が横づけできるオートキャンプ場、ドッグラン等を整備した。



●インバウンド誘客に向けた情報発信及び環境整備

欧州からのインバウンド誘客に向け、フランス・パリにおいて本市初となる欧州圏での観光プロモーションを展開した。受入に向けた環境整備として、周辺市町と連携し、無線LANの整備や外国語表記への支援を実施した。



●観光素材の磨き上げ

観光客を本市に呼び込むため、本市の3つの観光拠点である一乗谷、まちなか、越前海岸において、滞在時間に合わせた観光周遊ルートを形成し、福井の食、歴史、自然を堪能できる体験型観光の充実に取り組んだ(一乗谷朝倉氏遺跡でのスカイランタンツアー、越前海岸でのウォーキングツアー、養浩館庭園での観月のタベツアーの造成等)。



●名勝「養浩館庭園」の改修

茶屋建物の屋根のふきかえ工事を行い、リニューアルした形で北陸新幹線福井開業後の観光客を迎える準備を進めた。アメリカの日本庭園専門誌では、14年連続でトップ10入りとなった。
(2021年1月時点)



●福井市イメージロゴ「福いいネ！」の制作

北陸新幹線福井開業に向け、本市のプロモーションの旗印となる福井市イメージロゴ「福いいネ！」を制作し、動画やポスター、ノベルティ、着ぐるみなどに活用して、本市の魅力を強かにアピールした。



◆分野4 学び成長するまち

健やかで自立心をもった感性豊かな子どもの育成や、文化や歴史、自然を将来に残し、福井に誇りが持てる魅力あるまちづくり、誰もが生きがいをもって暮らすことのできるまちづくり取り組みました。

政策11 文化、歴史、自然に関する政策

●国指定の重要文化財である大安寺の修理事業を支援

本市における貴重な文化財である大安寺について、本堂を始めとする建造物の大規模修理を支援した。



●NHK大河ドラマと関連した企画展を開催

福井市立郷土歴史博物館において、2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公である明智光秀と本市の関わりをテーマとした企画展を開催し、大河ドラマを契機とした本市の歴史に触れる機会を提供した。



政策12 学校教育に関する政策

●英語教育の充実

令和2年度から小学校で英語が教科化されることに伴い、子ども達がこれまで以上に外国の文化に触れ、英語に慣れ親しむことができるよう、ALT（外国語指導助手）を増員した。



●学校の学習・生活環境向上

児童・生徒が快適に学び、安心して過ごせるよう、学校トイレの洋式化や、音楽室への空調設備の設置、学校体育館のバリアフリー化や、照明のLED化、窓ガラス飛散防止対策などを実施した。



●キャリア教育の充実

子どもたちが自立心を高めていけるよう、学校と地域・企業をつなぐキャリア教育コーディネーターを配置し、職場体験などによりキャリア教育を充実した。



●学校図書館の充実

児童生徒が読書により親しめる環境をつくるため、蔵書数を増やすとともに、学校間での図書の共有を図るなど、学校図書館を充実した。



●新学校給食センターの整備推進

安全でおいしい給食が安定的に提供できるよう、新学校給食センターの整備に向け、令和6年度の供用開始を目指し、基本計画や実施方針の策定を進めた。



政策13 生涯学習、生涯スポーツに関する政策

●公民館と小学校の複合化を実施

耐震性に課題のある順化公民館の機能を順化小学校に移転し、多様な世代間の交流機会を生み出すことにより地域のコミュニティ活動を促進した。



●「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の開催

福井県選手団の活躍により、国体では天皇杯と皇后杯を獲得。また、全国初の試みとして、国体会期中に障スポ競技（車いすバスケットボール）を開催するなど、国体と障スポの融合に取り組んだ。



●市立図書館のリニューアルを推進

老朽化が進み耐震性に課題のある市立図書館について、市民が安心して図書館に集い、快適に学べるよう、令和5年度のリニューアルに向け基本設計等を進めた。



●フットボールセンターの整備検討

スポーツ環境の充実を図るため、福井市スポーツ公園サッカー場を人工芝グラウンドやクラブハウスを備えたフットボールセンターに改修するための検討を進めた。



4 数値目標の実績

年度別数値目標達成状況 (%) (※2年度は見込み値)

	29年度 (1年目)	30年度 (2年目)	元年度 (3年目)	2年度 (4年目)
分野1 快適に暮らすまち	62.5	87.1	87.5	71.9
分野2 住みよいまち	93.9	87.9	85.3	67.6
分野3 生き活きと働くまち	68.8	62.5	71.8	40.6
分野4 学び成長するまち	68.2	71.4	50.0	22.7
全体	73.9	77.7	75.8	53.3

達成率 (%)・・・目標達成数／目標設定数×100

※詳細は、本資料の「第七次総合計画実施計画の数値目標の実績」を参照。

5 市民意識調査結果

(1) 市民意識調査概要

目的：第七次福井市総合計画に係る各施策等について、事業効果や市民ニーズの把握を目的に実施

対象：市内に居住する18歳以上の男女2,500人

期間：令和2年6月1日(月)～令和2年6月26日(金)

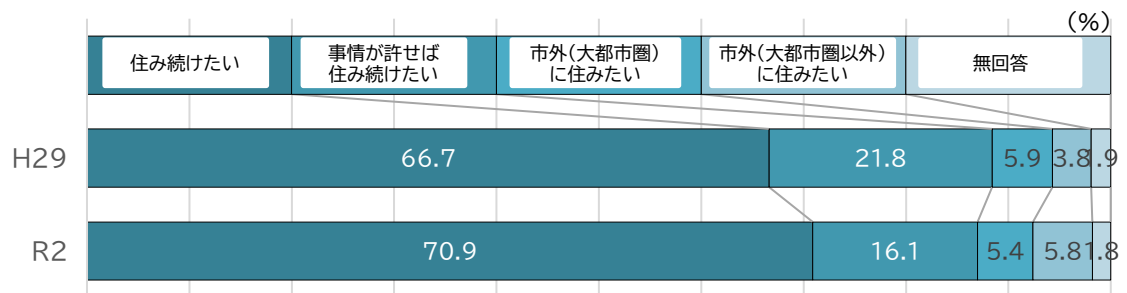
方法：郵便またはインターネットによる

回収率：41.8%(1045票)

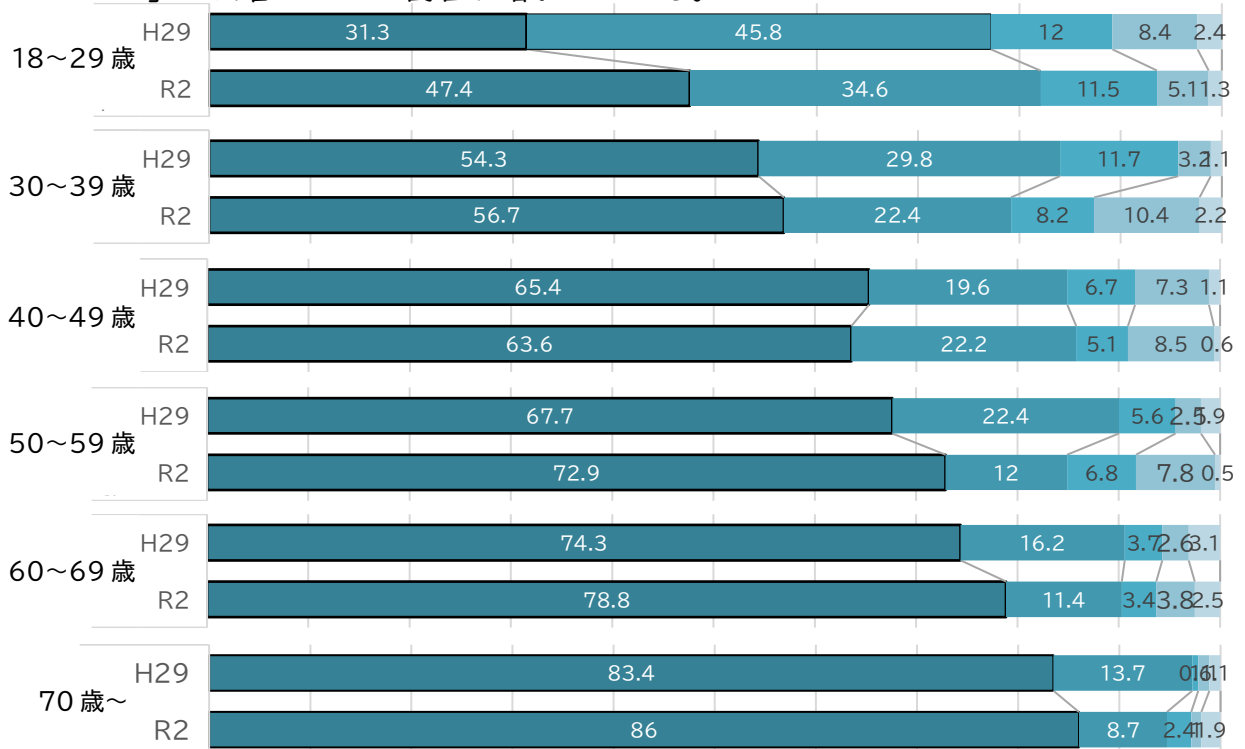
(2) 調査結果のポイント

■「福井市に住み続けたい」との回答が約9割。

- ・「福井市に住み続けたい」(「住み続けたい」(70.9%)及び「事情が許せば住み続けたい」(16.1%)の合計)が87.0%となっている。
- ・七次総策定時の平成29年と比べると、「福井市に住み続けたい」との回答が4.2ポイント増加している。



- ・年代別にみると、40～49歳を除き、全ての年代において、「福井市に住み続けたい」と回答した人の割合が増加している。

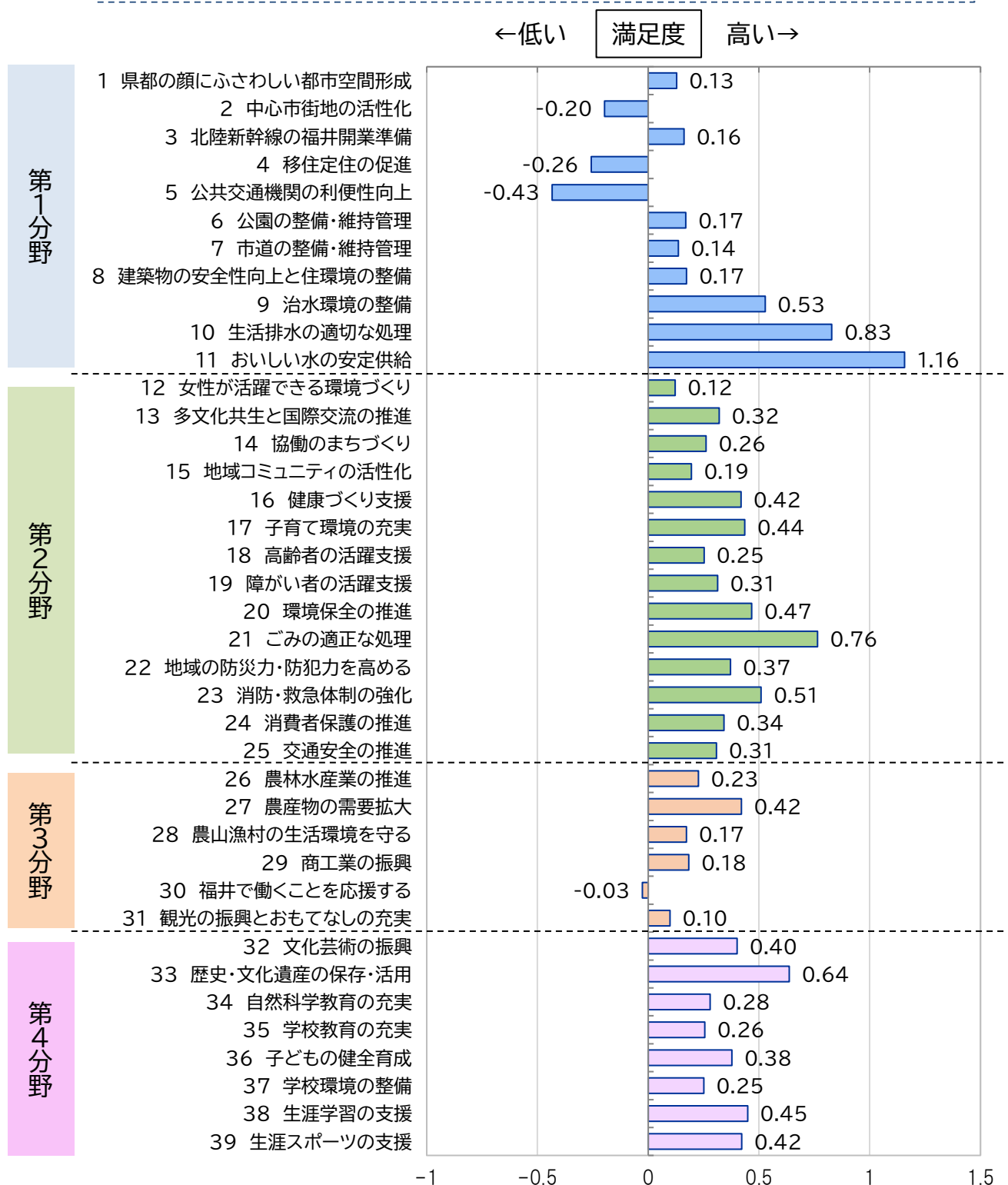


■第七次総合計画に掲げる施策の満足度について、約9割がプラス評価。

- ・39項目中、35項目でプラス評価。
- ・満足度が最も高い項目は「おいしい水の安定供給」。一方、最も低い項目は、「公共交通機関の利便性向上」であった。

評価方法：市民が回答した満足度の項目ごとに、次のとおり点数をつけ、項目ごとに平均値を算出

満足：2点、ほぼ満足：1点、やや不満：-1点、不満：-2点



第七次総合計画 実施計画の 数値目標の実績

(R2年度分は、見込み)

【評価基準】

・年度ごとに設定された数値目標を達成したもの

…



・年度ごとに設定された数値目標を達成できなかったもの…



政策	1 まちなかの充実した都市機能により多様な人が集まるまちをつくる
----	----------------------------------

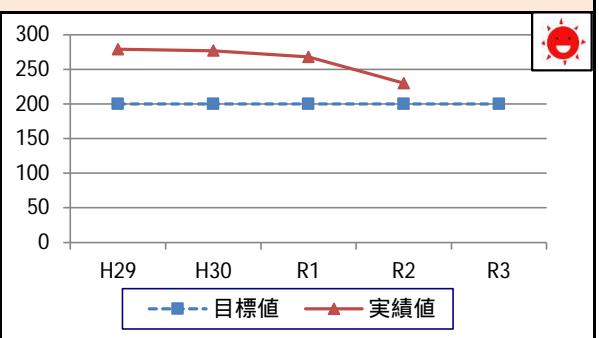
施策 1 まちなかの資源を活かした魅力と風格ある県都の顔をつくる

数値目標	1 足羽山公園遊園地の入園者数	単位 万人	15.0 14.0 13.0 12.0 11.0 10.0 9.0		
目的	まちなかが魅力的に生まれ変わるにより、市民や観光客の集客力の向上、及びまちなか観光の回遊性の向上を図る。				
担当所属	公園課	基準値(H27)	12.0		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	12.0	12.5	13.0	13.5	14.0
実績値	9.3		12.2	9.6	
算出根拠	入口でカウントした入園者数				
数値目標	2 中央公園で行われるイベント数	単位 回	8 7 6 5 4 3 2 1 0		
目的	イベントの開催により、多様な人が集まることで、まちなかの賑わいの創出を図る。				
担当所属	公園課	基準値(H27)	3		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	3	4	5	6	7
実績値	4	5	6	6	
算出根拠	市に申請があったイベントの実施数				
数値目標	3 民間活力を活かした県都の顔づくり事業による補助件数(累計)	単位 件	40 30 20 10 0		
目的	質の高い都市デザインに支えられた一貫性のある公共空間を創出する。				
担当所属	都市整備課	基準値(H27)	3		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	9	15	21	27	33
実績値	8	10	11	13	
算出根拠	良好な景観づくりに資する建物の新築や改築、又は低未利用地や公共空間を活用した広場整備や動線整備等、民間が行う景観形成事業を対象とした補助件数				
数値目標	4 福井駅周辺土地区画整理事業進捗率	単位 %	100.0 99.5 99.0 98.5 98.0		
目的	福井駅利用者の利便性の向上により、公共交通機関の利用の増加を図る。				
担当所属	都市整備課	基準値(H27)	91.5		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	99.3	100.0			
実績値	98.6	100.0			
算出根拠	事業費累計 / 総事業費 × 100				
数値目標	5 民間主体によるまちづくりへの補助件数(累計)	単位 件	4 3 2 1 0		
目的	民間によるまちなかの市街地再開発と優良建築物等の整備を支援することにより、県都の顔に相応しい景観形成と、にぎわいの創出を図る。				
担当所属	都市整備課	基準値(H27)	1		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	3	3	3	3	3
実績値	2	3	3	3	
算出根拠	民間主体の市街地再開発事業と優良建築物等整備事業への補助件数				

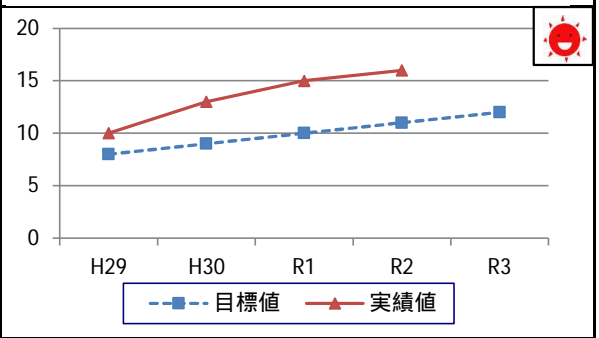
政策	1 まちなかの充実した都市機能により多様な人が集まるまちをつくる
----	----------------------------------

施策 2 にぎわいのある空間を創出しまちなかの活性化を図る

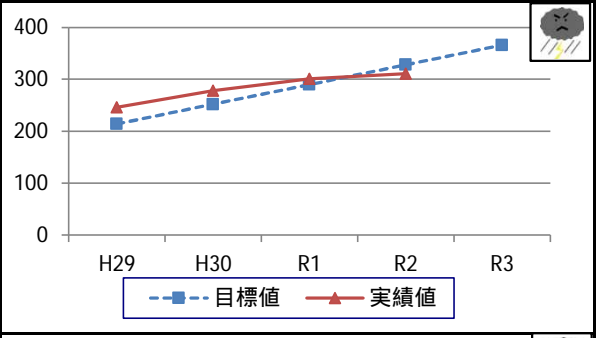
数値目標	6 ハピリン入込客数	単位 万人			
目的	JR福井駅をはじめ交通結節機能に隣接するハピリンにおけるにぎわいが、中心市街地全体の活性化となることで、ふくい全体のイメージアップを図る。				
担当所属	都市整備課	基準値(H27)			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	200	200	200	200	200
実績値	279	277	268	230	
算出根拠	ハピリン内全施設への入込客数の合計				



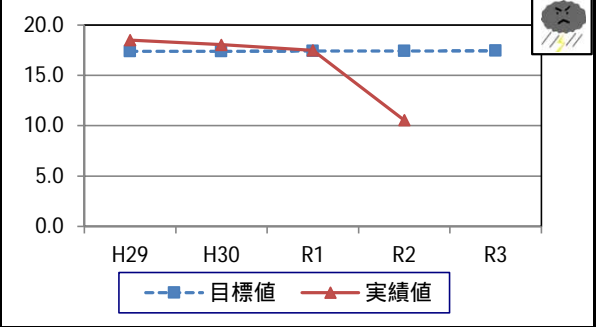
数値目標	7 市街地中心部における賑わい拠点となり得るリノベーション件数(累計)	単位 件			
目的	賑わい拠点となり得るリノベーションの実施により、まちなかエリアの活性化及び賑わいの創出を図る。				
担当所属	商工振興課	基準値(H27) 7			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	8	9	10	11	12
実績値	10	13	15	16	
算出根拠	まちなか地区(625ha)において、賑わいの拠点となり得るリノベーションの件数、実地調査により把握				



数値目標	8 まちなか住まい支援住戸数(累計)	単位 戸			
目的	まちなか人口の減少に歯止めをかけ、まちなかに優良な住宅を整備し、長くまちなかに住み続けてもらうことにより、まちなかの活性化を図る。				
担当所属	住宅政策課	基準値(H27) 164			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	214	252	290	328	366
実績値	246	278	301	311	
算出根拠	まちなか地区(625ha)への居住を促進する、住宅(建設・リフォーム)支援補助制度を活用した戸数				

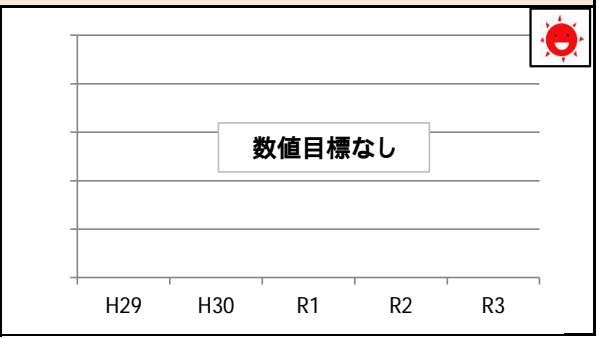


数値目標	9 福井駅発着のバスにおける一人当たりの利用回数	単位 回			
目的	福井駅前発着バスの乗継利便性が向上したことにより、まちなかを起点としたバス交通のアクセス向上を図る。				
担当所属	地域交通課	基準値(H27) 17.28			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	17.4	17.41	17.42	17.43	17.45
実績値	18.5	18.05	17.49	10.57	
算出根拠	福井駅発着の京福バス年間乗車数 / 生産年齢人口				



施策 3 北陸新幹線の整備を進める

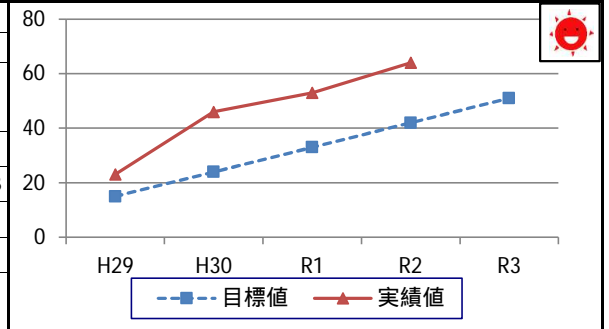
数値目標	10 並行在来線の令和4年度開業準備	単位			
目的	令和4年度末の北陸新幹線福井開業に伴い、JR西日本より経営分離される並行在来線の開業に向け、第3セクターによる円滑な経営準備を進める。				
担当所属	新幹線整備課	基準値(H27)			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	関連調査	経営運行に関する基本方針の策定	経営計画(案)策定	第3セクター設立	経営計画策定
実績値	関連調査	経営運行に関する基本方針の策定	経営計画(案)策定	第3セクター設立	



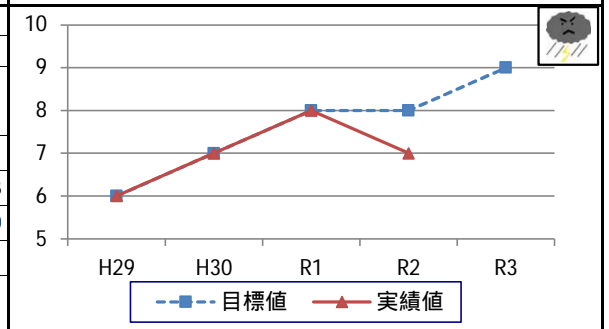
政策	2 地域の特徴を活かし魅力的で活力のあるまちをつくる
----	----------------------------

施策 4 地域の特徴と資源を活かした個性豊かな地域をつくる

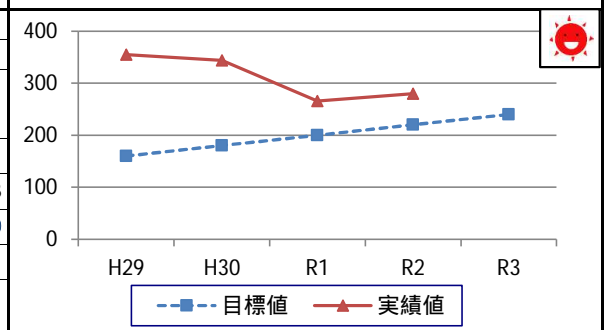
数値目標	11 多機能よろず茶屋で生活支援に取り組むボランティア数(累計)	単位 人			
目的	将来的に、住民を中心としたボランティアが、要支援者の訪問介護や通所介護の一部を担うことにより、介護費用の縮減を図る。				
担当所属	地域包括ケア推進課	基準値(H27) -			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	15	24	33	42	51
実績値	23	46	53	64	
算出根拠	毎年1箇所新設する多機能よろず茶屋と、既存のよろず茶屋2箇所を多機能型に転換し、計3箇所各3人のボランティアを配置				



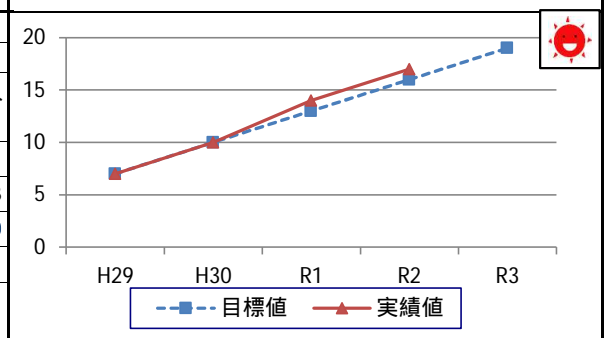
数値目標	12 特定景観計画区域の地区(ゾーン)の指定数(累計)	単位 ゾーン			
目的	特定景観計画区域を追加することにより、地区の特性に調和した景観の形成を図る。				
担当所属	都市整備課	基準値(H27) 6.0			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	6	7	8	8	9
実績値	6	7	8	7	
算出根拠	重点的に良好な景観の形成を図る必要があると認める区域(特定景観計画区域)の指定数				



数値目標	13 本市へのU・イターン者数	単位 人			
目的	人口減少傾向を食い止め、若年層を中心とした新しい人の流れを創出する。				
担当所属	まち未来創造課	基準値(H27) 142			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	160	180	200	220	240
実績値	355	344	266	280	
算出根拠	福井Uターンセンターでの相談や市の補助制度等を活用してU・イターンした人数				

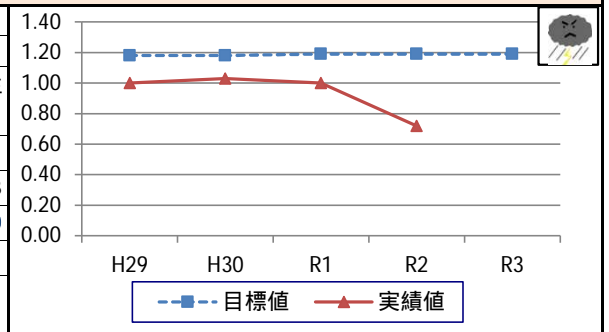


数値目標	14 里地・里山活性化事業に取り組む集落又は地区の数(累計)	単位 集落・地区			
目的	農林漁家の所得向上や地域コミュニティの維持、交流・定住人口の増加を図る。				
担当所属	農政企画課	基準値(H27) -			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	7	10	13	16	19
実績値	7	10	14	17	
算出根拠	新規に里地・里山活性化事業を開始した集落又は地区の合計数				



施策 5 地域の生活を支える利便性の高い交通システムを構築する

数値目標	15 地域バス運行地区住民一人当たりの地域バス利用回数	単位 回			
目的	高齢者の地域バスの利用割合は増加傾向にあり、高齢者の生活の足確保と移動利便性の向上を図る。				
担当所属	地域交通課	基準値(H27) 1.18			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	1.18	1.18	1.19	1.19	1.19
実績値	1.00	1.03	1.00	0.72	
算出根拠	地域バス年間利用者数 / 地域バス運行地区住民人口				



数値目標	16 えちぜん鉄道・福井鉄道の乗車人数					単位 万人	
目的	えちぜん鉄道・福井鉄道の安定経営により、市民への公共交通サービスを提供する。						
担当所属	地域交通課	基準値(H27)			544		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	558	560	561	562	563		
実績値	560	573	561	430			
算出根拠	えちぜん鉄道と福井鉄道の延べ乗車人数						
施策	6 快適な市民の憩いの場をつくる						
数値目標	17 認定里川保全箇所数(累計)					単位 箇所	
目的	住民との合意形成により、里川の保全と継承を図る。						
担当所属	河川課	基準値(H27)			—		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	1	2	3	4	5		
実績値	1	2	3	4			
算出根拠	市が認定している里川の整備・補修箇所数						
数値目標	18 公園施設リニューアル件数(累計)					単位 件	
目的	公園の整備・維持管理を推進し、利用者の安全が確保されることで、市民の精神的な安らぎや地域コミュニティの形成、子供の健全な育成を図る。						
担当所属	公園課	基準値(H27)			19		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	21	21	25	29	31		
実績値	20	22	25	28			
算出根拠	老朽化している公園施設の更新件数						

政策	3 強靱な社会基盤と安全で快適な生活環境が整ったまちをつくる
----	--------------------------------

施策	7 強靱な社会基盤を整備する				
----	----------------	--	--	--	--

数値目標	19 橋りょう改修率					単位 %
目的	橋梁の安全性確保により、安心で快適な生活環境を構築する。					
担当所属	道路課		基準値(H27)		33.0	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	36.0	39.0	42.0	45.0	48.0	
実績値	33.9	38.5	44.0	49.5		
算出根拠	(橋りょう耐震化数+橋りょう補修数) / 耐震補強及び補修が必要な橋りょう数×100					

数値目標	20 河川整備率(準用河川・普通河川)					単位 %
目的	河川の整備を推進し、治水安全を確保することにより、水害の少ない都市(生活圏)を形成する。					
担当所属	河川課		基準値(H27)		56.0	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	56.5	56.9	57.3	57.6	57.9	
実績値	56.3	56.9	57.3	58.0		
算出根拠	河川整備延長 / 河川総延長×100					

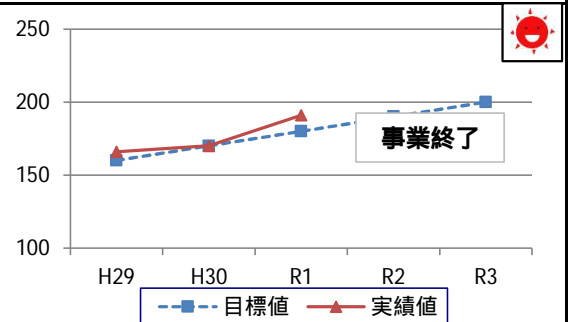
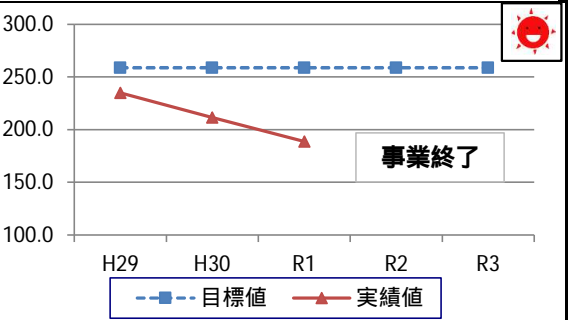
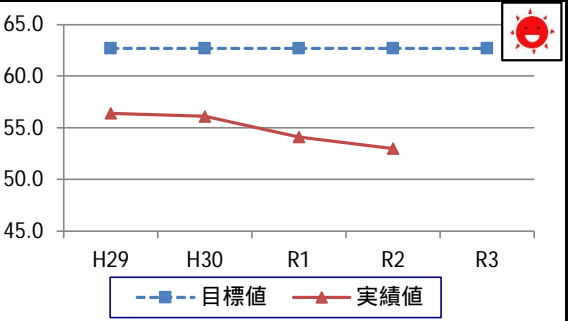
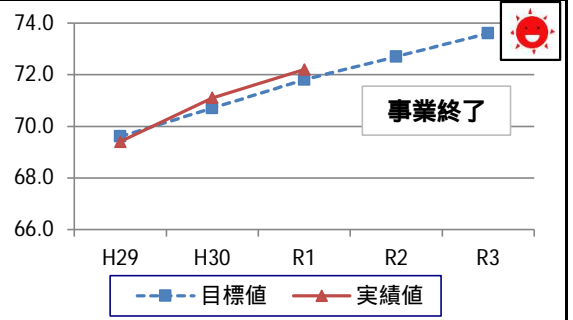
数値目標	21 下水道による都市浸水対策達成率					単位 %
目的	浸水被害を軽減することで、市民の生命や財産を保護する。					
担当所属	雨水対策課		基準値(H27)		73.0	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	84.0	84.0	84.0	84.0	92.0	
実績値	84.2	84.2	84.2	84.2		
算出根拠	整備済排水区面積 / 福井市下水道雨水対策基本計画対象区域面積×100					

数値目標	22 木造住宅の耐震化件数(累計)					単位 件
目的	大規模地震発生時の人的及び経済的被害の軽減を図る。					
担当所属	建築指導課		基準値(H27)		180	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	210	230	250	270	290	
実績値	205	215	222	226		
算出根拠	木造住宅耐震化促進事業の改修補助交付件数					

数値目標	23 森田北東部地区区内人口					単位 人
目的	事業区域内の人口増加により、経済活動が活発になり、雇用機会の創出と税収入の増加を図る。					
担当所属	区画整理課		基準値(H27)		6,600	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	6,900	7,200	7,500	7,800	8,200	
実績値	7,181	7,631	8,019	8,430		
算出根拠	森田北東部土地区画整理事業区域内(240.4ha)の人口					

数値目標	24 市営住宅の耐震化率					単位 %	
目的	市営住宅の耐震化を推進することにより、都市基盤の強靱化を図る。						
担当所属	市営住宅課	基準値(H27)			84.6		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	86.0	87.1	89.0	90.1	91.3		
実績値	86.0	87.1	89.0	90.1			
算出根拠	耐震化済棟数 / 市営住宅の全管理棟数 × 100						
施策 8 生活排水を適切に処理し良好な水環境を維持する							
数値目標	25 公共下水道区域内の人口普及率					単位 %	
目的	公共下水道の普及拡大に伴い、生活排水による水環境の負荷の軽減を図る。						
担当所属	下水管路課	基準値(H27)			94.0		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	95.0	95.6	96.2	96.8	97.4		
実績値	95.2	95.8	96.3	96.8			
算出根拠	公共下水道による汚水処理人口 / 公共下水道区域内人口 × 100						
施策 9 安全で安心なおいしい水と都市ガスを安定供給する							
数値目標	26 下水管路の耐震化率					単位 %	
目的	地震や老朽化による汚水処理施設の機能停止等を未然に防ぎ、下水道サービスを安定的に提供する。						
担当所属	下水管路課	基準値(H27)			44.7		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	46.2	47.0	47.8	48.6	49.5		
実績値	46.0	47.3	48.1	49.0			
算出根拠	耐震化済管路延長 / 下水道管路総延長 × 100						
施策 9 安全で安心なおいしい水と都市ガスを安定供給する							
数値目標	27 経費回収率					単位 %	
目的	公共下水道事業を安定的かつ持続的に経営する。						
担当所属	下水管理課	基準値(H27)			94.5		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	94.5	100.0	100.0	100.0	100.0		
実績値	100.5	99.8	120.0	104.6			
算出根拠	使用料収入 / 汚水処理費 × 100						
施策 9 安全で安心なおいしい水と都市ガスを安定供給する							
数値目標	28 水道基幹管路の耐震化率					単位 %	
目的	災害時においても水道が安定して供給されることにより、市民の生命を守る。						
担当所属	ガス・水道整備課、ガス・水道施設課、浄水管理事務所	基準値(H27)			27.4		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	30.0	31.6	33.9	35.6	36.7		
実績値	28.5	31.8	33.9	35.6			
算出根拠	耐震化済基幹管路延長 / 水道基幹管路総延長 × 100						

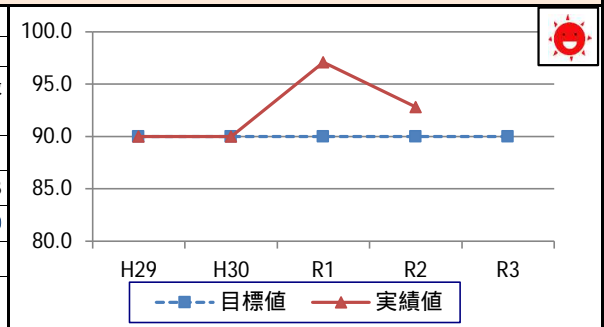
数値目標	29 ガス導管の耐震化率					単位 %
目的	ガス導管の耐震化対策を促進することにより、災害時における高水準の保安レベルの維持・向上を図る。					
担当所属	ガス・水道整備課、ガス・水道施設課、浄水管理事務所 基準値(H27) 67.7					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	69.6	70.7	71.8	72.7	73.6	
実績値	69.4	71.1	72.2			
算出根拠	耐震化済ガス導管延長 / ガス導管総延長 × 100					
数値目標	30 給水人口1人当たりの企業債残高					単位 千円
目的	水道事業を健全に経営し、市民に安全で安心なおいしい水を供給する。					
担当所属	経営管理課、ガス・水道お客様課 基準値(H27) 62.7					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	62.7	62.7	62.7	62.7	62.7	
実績値	56.4	56.1	54.1	53.0		
算出根拠	企業債残高 / 給水人口					
数値目標	31 ガス供給件数1件当たりの企業債残高					単位 千円
目的	ガス事業を健全に経営し、市民に安全で安心なガスを安定して供給する。					
担当所属	経営管理課、ガス・水道お客様課 基準値(H27) 258.8					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	258.8	258.8	258.8	258.8	258.8	
実績値	235.0	211.5	188.8			
算出根拠	企業債残高 / ガス供給件数					
数値目標	32 先進ガス機器販売台数					単位 台数
目的	家庭用需要家の都市ガス利用継続の確保と新規需要家獲得により、ガスの販売量増加に貢献し、ガス事業の経営安定化を図る。					
担当所属	経営管理課、ガス・水道お客様課 基準値(H27) 139					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	160	170	180	190	200	
実績値	166	170	191			
算出根拠	ガス展、企業局内のガスセンターショールーム、ガスサービスショップ、ガス供給施設工事公認業者等での先進ガス機器の販売台数					



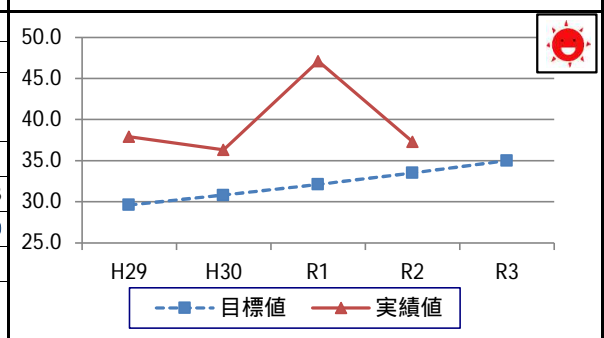
政策	4 市民が自らの役割と責任を担い誰もが尊重され活躍できる住みよいまちをつくる
----	--

施策 10 女性が輝く社会の実現を図る

数値目標	33 自身の将来設計をすることや、福井で輝きながら働くことに興味を持った女子学生の割合	単位 %
目的	若い女性が就職や結婚、子育てなどを含めた自身のライフプランを設計することにより、福井で活躍する女性の増加を図る。	
担当所属	女性活躍促進課	基準値(H27) 90.0
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	90.0 90.0 90.0 90.0 90.0	
実績値	90.0 90.0 97.1 92.8	
算出根拠	関心を持った女子学生数 / 事業参加者数 × 100 (事業実施後のアンケート調査により算出)	

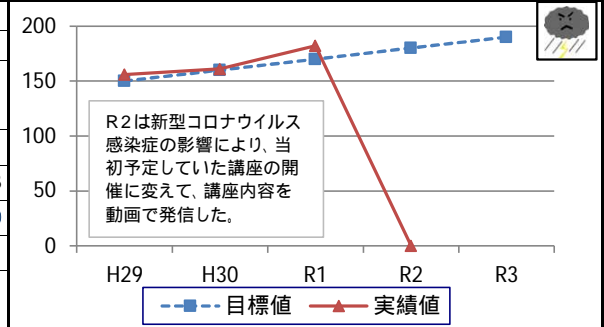


数値目標	34 自治会・防災・防犯などの地域活動に参加している女性の割合	単位 %
目的	市民の男女平等意識を高めることで、男女共同参画社会の実現を図る。	
担当所属	女性活躍促進課	基準値(H27) 28.5
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	29.6 30.8 32.1 33.5 35.0	
実績値	37.9 36.3 47.1 37.3	
算出根拠	地域活動に参加したと回答した女性の数 / 女性の回答数 × 100	



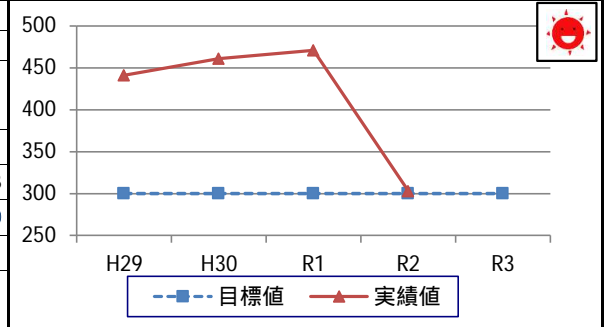
施策 11 多文化共生の地域づくりと国際交流を推進する


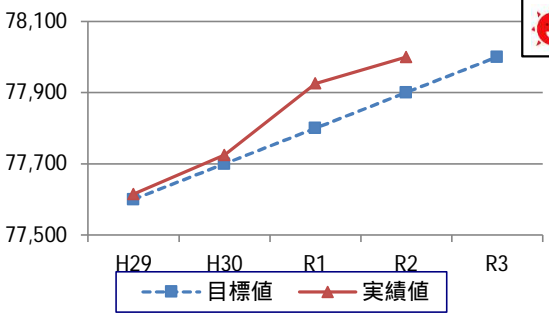

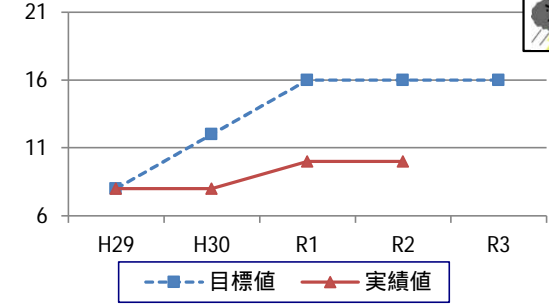
数値目標	35 通訳ボランティア育成事業の参加者数	単位 人
目的	外国人観光客にも対応できるボランティアを育成する。	
担当所属	おもてなし観光推進課国際室	基準値(H27) 139
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	150 160 170 180 190	
実績値	156 161 182 0	
算出根拠	通訳ボランティア育成事業の参加実績	



施策 12 力を出し合いみんなで担う協働のまちづくりを進める

数値目標	36 ボランティア活動相談件数	単位 件
目的	市民のボランティア活動への関心や意欲を高め、活動に結び付けることにより、市民一人ひとりが、複雑化する地域の課題を、主体的に解決する意識の醸成を図る。	
担当所属	市民協働・ボランティア推進課	基準値(H27) -
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	300 300 300 300 300	
実績値	441 461 471 303	
算出根拠	総合ボランティアセンターで取り扱った相談件数	

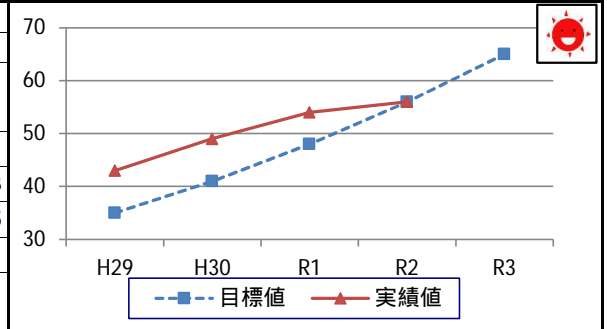


施策		13 住民が主体となったまちづくりを進める					
数値目標	37 自治会加入世帯数	単位		78,100			
		人					
目的	自治会が果たしている地域防災、地域福祉などの様々な役割がより効果的に行われることにより、住民参加による安全・安心なまちづくりを推進する。						
担当所属	まち未来創造課	基準値(H27)	77,514				
年度	H29	H30	R1	R2			R3
目標値	77,600	77,700	77,800	77,900			78,000
実績値	77,615	77,725	77,926	78,000			
算出根拠	毎年1月時点の自治体加入世帯数						
数値目標	38 若者が主体となって取り組むまちづくりの事業数	単位		21			
		事業					
目的	新たな担い手が、まちづくり組織に参画し、人材の固定化や活動のマンネリ化が解消されることにより、地域の魅力向上を図る。						
担当所属	まち未来創造課	基準値(H27)	-				
年度	H29	H30	R1	R2			R3
目標値	8	12	16	16			16
実績値	8	8	10	10			
算出根拠	地域の魅力発信事業のうち、若者(概ね16~40歳代)が実施主体となり地域を活性化させる事業(未来創造コース)へ申請のあった事業数						

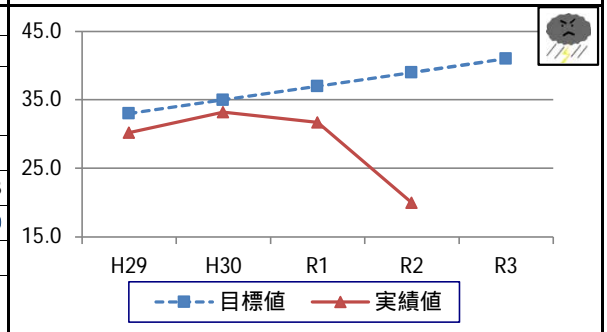
政策	5 すべての市民が健康で生きがいをもち安心して暮らせるまちをつくる
----	-----------------------------------

施策 14 生涯にわたる健康づくりを支援する

数値目標	39 認知症初期集中支援チームが支援した認知症高齢者等の人数	単位 人			
目的	認知症の初期段階で、認知症初期集中支援チームの包括的・集中的支援を受けることにより、認知症の重症化抑制や、住みなれた地域で自分らしい生活を送ることを支援する。				
担当所属	地域包括ケア推進課	基準値(H27) 26			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	35	41	48	56	65
実績値	43	49	54	56	
算出根拠	新規に支援した認知症高齢者等の人数				

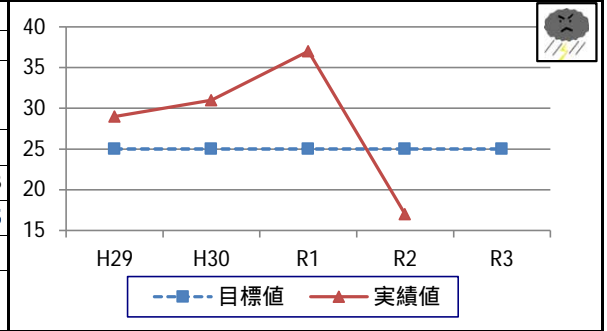


数値目標	40 特定健診受診率	単位 %			
目的	生活習慣病を早期に発見または予防することで、健康寿命の延伸につながり、一人当たりにかかる医療費の抑制を図る。				
担当所属	保健年金課	基準値(H27) 29.3			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	33.0	35.0	37.0	39.0	41.0
実績値	30.2	33.2	31.7	20.0	
算出根拠	特定健診受診者数 / 40～74歳の国保被保険者数 × 100				

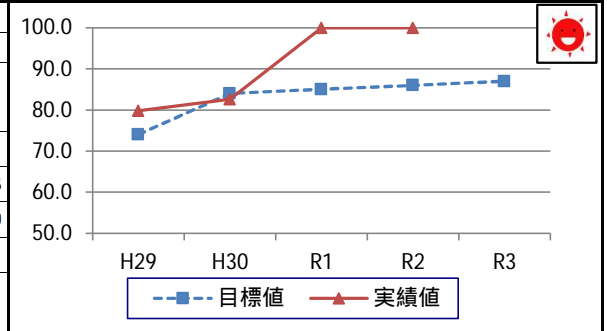


施策 15 子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる

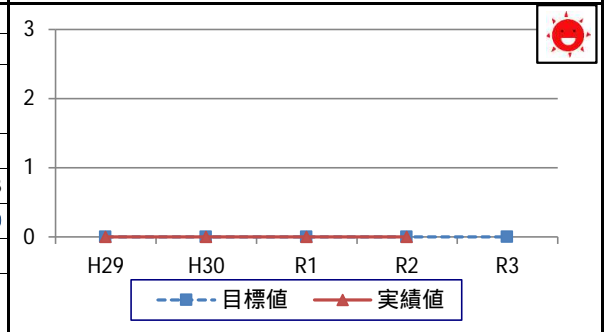
数値目標	41 縁活(婚活)イベントにおけるカップル成立数	単位 組			
目的	成立したカップルに対し、結婚への意識を高める講座やセミナーを開催し、市が結婚への後押しをすることで、未婚率の低下や晩婚化の抑制を図る。				
担当所属	女性活躍促進課	基準値(H27) 19			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	25	25	25	25	25
実績値	29	31	37	17	
算出根拠	縁活(婚活)イベント実施後の調査により集計				



数値目標	42 妊婦面接相談実施率	単位 %			
目的	妊娠早期から、切れ目のない充実した支援により、安心して妊娠・出産・子育てができる体制を整備する。				
担当所属	健康管理センター	基準値(H27) 73.0			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	74.0	84.0	85.0	86.0	87.0
実績値	79.8	82.6	100.0	100.0	
算出根拠	交付時に保健師の面接を受けた妊婦数 / 母子健康手帳総交付数 × 100				



数値目標	43 待機児童0(ゼロ)の維持	単位 人			
目的	私立園の運営、施設整備の両面に対する支援により、受入環境を充実させ、就学前児童を抱える世帯の保育ニーズに応える。				
担当所属	子育て支援課	基準値(H27) 0			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	
算出根拠	年度当初に希望する園に入れなかった児童の数				

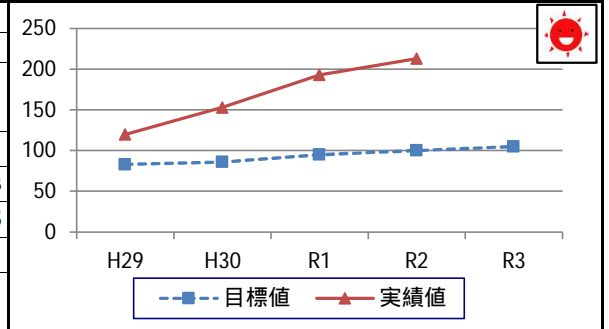


数値目標	44 放課後児童クラブ入会率	単位 %					
目的	放課後留守家庭児童に適切な生活の場を提供することにより、児童の健全育成に資する。						
担当所属	放課後児童育成室	基準値(H27)	100				
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	100	100	100	100	100		
実績値	100	100	100	100			
算出根拠	放課後児童クラブ等に入会した児童数 / 放課後児童クラブ等への入会を希望する放課後留守家庭児童数						
施策	16 高齢者が生涯にわたって社会参画でき安心して暮らせる環境をつくる						
数値目標	45 地域包括支援センターでの相談件数	単位 件					
目的	高齢者がいつでも相談できる環境を整備することで、住み慣れた地域でその人らしい安全・安心な生活を送ることを支援する。						
担当所属	地域包括ケア推進課	基準値(H27)	21,622				
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	21,900	22,200	22,400	22,600	22,700		
実績値	26,621	27,060	27,804	22,600			
算出根拠	地域包括支援センターが、高齢者からの相談に対応した延べ件数						
数値目標	46 シルバー人材センター会員の就業率	単位 %					
目的	高齢者の就労者数の増加により、高齢者の生きがいの充実や社会参画を促進する。						
担当所属	しごと支援課	基準値(H27)	77.3				
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	78.0	78.5	79.0	79.5	80.0		
実績値	78.0	78.5	79.0	67.0			
算出根拠	就業者数 / シルバー人材センター会員数 × 100						
施策	17 障がいのある人が地域で安心して生活できるよう支援する						
数値目標	47 障がい者の一般就労移行支援者数	単位 人					
目的	障がい者が、地域で安心して日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する。						
担当所属	障がい福祉課	基準値(H27)	10				
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	28	31	33	36	38		
実績値	28	33	45	44			
算出根拠	雇用調整員の支援による一般就労移行者及び就労定着支援者数						
施策	18 生活困窮者の自立を支援する						
数値目標	48 生活保護世帯の新規経済的自立世帯数	単位 世帯					
目的	就労者の増加により、生活保護扶助費の減少に繋がり、財政負担の軽減を図る。						
担当所属	生活支援課	基準値(H27)	58				
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	63	68	71	74	77		
実績値	68	81	91	92			
算出根拠	就労支援により経済的に自立した世帯数						

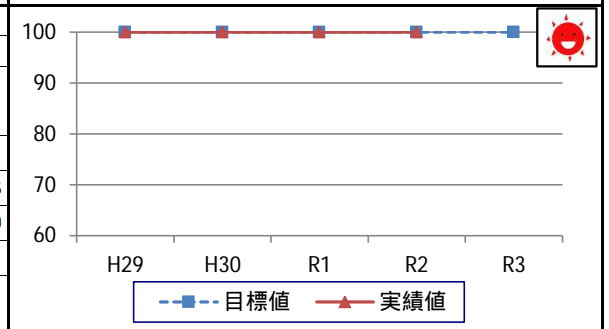
政策 6 環境にやさしい持続可能なまちをつくる

施策 19 良好な生活環境や水とみどりが豊かな都市環境を守り育てる

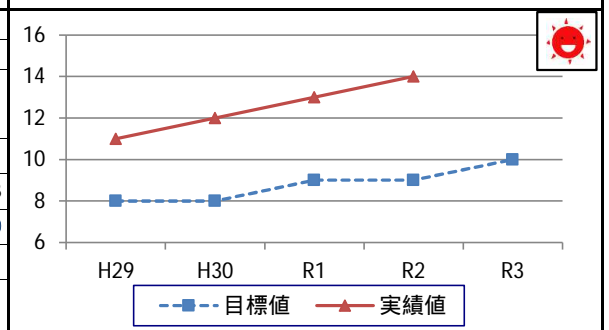
数値目標	49 環境ボランティア登録者数(累計)					単位 人	
目的	地域での自然環境保護活動が促進され、良好な生活環境の保全を図る。						
担当所属	環境政策課					基準値(H27)	69
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	83	86	95	100	105		
実績値	120	153	193	213			
算出根拠	自然環境整備活動や調査に協力するボランティア(自然ファンクラブ)に登録した人数						



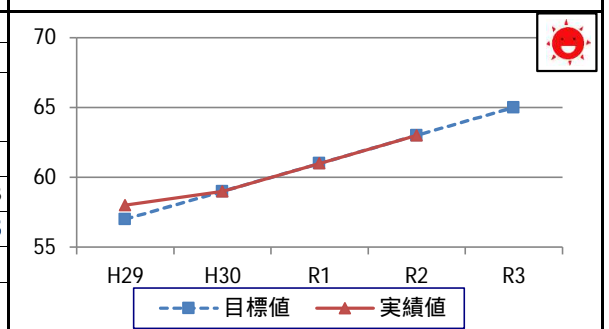
数値目標	50 環境基準達成率(大気)(水質)					単位 %	
目的	公害のない住みやすい生活環境を維持する。						
担当所属	廃棄物対策課					基準値(H27)	100
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	100	100	100	100	100		
実績値	100	100	100	100			
算出根拠	大気:市内全測定局における二酸化窒素の環境基準達成率 水質:主要河川におけるBODの環境基準達成率 (生物化学的酸素要求量Biochemical oxygen demandの略)						



数値目標	51 まち美化パートナー制度協定締結団体数(河川)(累計)					単位 団体	
目的	河川環境の保全と美化の促進を図る。						
担当所属	河川課					基準値(H27)	7
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	8	8	9	9	10		
実績値	11	12	13	14			
算出根拠	美化活動区域等について市と合意書を取り交わしている団体数						

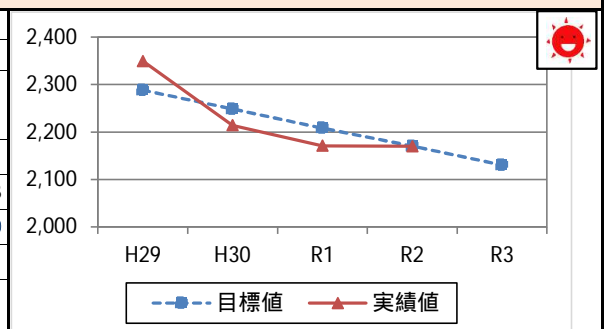


数値目標	52 まち美化パートナー制度協定締結団体数(公園)(累計)					単位 団体	
目的	地域の自主性の促進と、公園のきめ細やかな美化を推進することにより、地域の公園に対する市民の愛着を醸成する。						
担当所属	公園課					基準値(H27)	49
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	57	59	61	63	65		
実績値	58	59	61	63			
算出根拠	美化活動区域等について市と合意書を取り交わしている団体数						



施策 20 環境負荷低減の取組を推進する

数値目標	53 温室効果ガス排出量					単位 千t	
目的	地球温暖化防止に貢献する。						
担当所属	環境政策課					基準値(H27)	2,368
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	2,288	2,248	2,208	2,170	2,130		
実績値	2,349	2,214	2,171	2,170			
算出根拠	市内における電気・ガス・石油等の年間消費量を推計し、それぞれに排出係数を乗じて温室効果ガスを算出。温室効果ガスはCO2に換算。						



数値目標	54 可燃ごみに混入している資源物の割合					単位 %	
目的	循環型社会の形成と、新ごみ処理施設整備に伴う経費の削減を図る。						
担当所属	環境政策課	基準値(H27)			28.2		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	27.4	27.0	26.6	26.2	25.8		
実績値	23.2	23.0	22.4	26.0			
算出根拠	混入資源物量 / 可燃ごみ総量 × 100 (ごみの内容物を調査・計量し、割合を算出)						
数値目標	55 一人一日当たりのごみ排出量					単位 g	
目的	循環型社会の形成と、新ごみ処理施設整備に伴う経費の削減を図る。						
担当所属	環境政策課	基準値(H27)			909		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	903	900	898	895	892		
実績値	900	899	892	868			
算出根拠	(燃やせるごみ+燃やせないごみ+資源ごみ)の重量 / 人口 / 365日						
施策	21 環境について考え行動できる人づくりを進める						
数値目標	56 環境に関する講座参加者数					単位 人	
目的	市民の環境保全意識の向上を図る。						
担当所属	環境政策課	基準値(H27)			1,477		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500		
実績値	1,697	1,727	1,837	1,098			
算出根拠	市が委託して実施する講座及び市が講師を派遣して地域が主催する学習会の参加人数						

政策	7 災害・事故に強い安全・安心なまちをつくる
----	------------------------

施策		2.2 地域の防災力を高める				
数値目標	57 非常食備蓄数 (累計)	単位 食				
目的	適正に備蓄を整備することにより、災害時の被害減少と被災者負担の軽減を図る。					
担当所属	危機管理課	基準値(H27) 129,290				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	144,805	160,320	175,834	191,349	206,864	
実績値	163,280	179,483	195,686	208,688		
算出根拠	非常食数想定避難者数 (25,858人) の2日分相当となる主食5食分と副食3食分の非常食数					
数値目標	58 災害時マンホールトイレの設置箇所数 (累計)	単位 箇所				
目的	避難所の衛生面の向上を図る。					
担当所属	危機管理課	基準値(H27) 8				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	14	19	24	29	34	
実績値	14	17	19	21		
算出根拠	小学校における設置箇所数					
数値目標	59 個別支援計画新規作成者数	単位 人				
目的	避難行動要支援者の支援体制の充実を図る。					
担当所属	危機管理課	基準値(H27) 96				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	300	300	300	300	300	
実績値	303	307	304	150		
算出根拠	避難行動要支援者と自治会長等の地域住民が、共に作成する避難支援プラン(個別支援計画)の新規作成数。					
施策		2.3 火災等から人命と財産を守る				
数値目標	60 危険及び劣化設備等の更新数 (累計)	単位 団体				
目的	施設の安全稼働と長寿命化を図る。					
担当所属	消防総務課	基準値(H27) -				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	6	11	17	23	27	
実績値	5	11	13	15		
算出根拠	消防庁舎、消防署、分遣所、分団詰所等の危険・劣化設備等のうち、更新した設備等の数					
数値目標	61 住宅火災発生件数	単位 件				
目的	住宅火災の発生件数抑制と、火災による死者を減少させる。					
担当所属	予防課	基準値(H27) 24(5年間平均)				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	23	22	21	21	20	
実績値	17	19	22	17		
算出根拠	火災発生件数のうち、専用住宅及び共同住宅で発生した火災の合計数					

数値目標	62 救急救命士の新規資格取得者数					単位 人	
目的	高規格救急車に、常時救急救命士を1人以上配置し、高度な救急救命処置を行うことで、救命効果が向上する。						
担当所属	救急救助課	基準値(H27)			4		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	4	4	4	4	4		
実績値	4	5	4	3			
算出根拠	救急救命士資格の新規取得者数						
施策	24 地域における防犯力を向上する						
数値目標	63 防犯隊出動回数					単位 回	
目的	防犯隊の活動が活性化することにより、犯罪発生件数が減少し、市民の安全安心な暮らしに寄与する。						
担当所属	危機管理課	基準値(H27)			1,450(5年間平均)		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	1,479	1,508	1,537	1,566	1,595		
実績値	1,482	1,515	1,544	1,300			
算出根拠	パトロール等を含めた防犯隊の出動回数						
数値目標	64 管理不全の空き家等が解消された件数(累計)					単位 件	
目的	空き家等が適正に管理され、老朽危険な空き家等が修繕・除却されることにより、市民の安全で安心な生活環境の維持を図る。						
担当所属	住宅政策課	基準値(H27)			76		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	145	185	225	265	305		
実績値	155	237	298	366			
算出根拠	市の行政措置を受けて修繕された物件、及び除却支援事業を活用し除却された空き家等の総件数						
施策	25 安全で安心な消費生活を支える						
数値目標	65 消費生活相談の解決率					単位 %	
目的	相談解決率を高めることにより、相談者の安心・安全を確保する。						
担当所属	消費者センター	基準値(H27)			98.0(5年間平均)		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0		
実績値	98.8	98.8	99.2	99.0			
算出根拠	解決を見た相談件数 / 相談総件数 × 100						
施策	26 交通安全対策を推進する						
数値目標	66 高齢者運転免許証自主返納者数					単位 人	
目的	運転に不安を持つ高齢者が免許返納を行うことで、交通事故発生数の減少を図る。						
担当所属	地域交通課	基準値(H27)			377		
年度	H29	H30	R1	R2	R3		
目標値	570	600	630	660	680		
実績値	839	772	990	869			
算出根拠	福井市内の満65歳以上の運転免許証自主返納者数						

政策	8 若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる
----	-------------------------

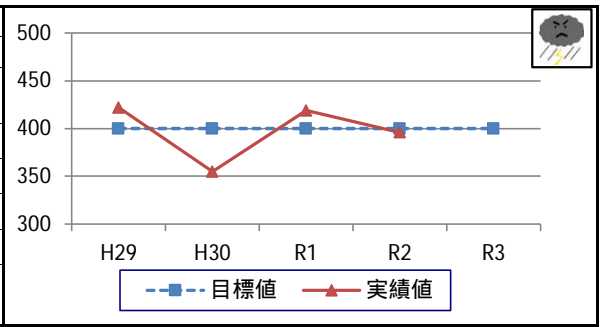
施策 27 稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る

数値目標	67 集落営農組織等への農地集積率	単位 %				
目的	集積・集約を進めることにより、生産コストの低減や農産品の高付加価値化など、儲かる農業の構造を確立する。					
担当所属	農政企画課	基準値(H27)		64.3		
年度	H29	H30		R1	R2	R3
目標値	72.0	76.0		80.0	80.0	80.0
実績値	71.4	72.1		73.9	76.6	
算出根拠	集落営農組織等の経営面積 / 経営耕地面積 × 100					
数値目標	68 園芸に取り組む経営体(担い手)の数(累計)	単位 件				
目的	園芸の担い手が増え産地化が進むことにより、新たに園芸に取り組む生産者の増加を図る。					
担当所属	農政企画課	基準値(H27)		104		
年度	H29	H30		R1	R2	R3
目標値	125	138		150	162	174
実績値	129	143		154	160	
算出根拠	認定農業者(個人・組織)、認定就農者、集落営農組織のうち、園芸に取り組む経営体の数					
数値目標	69 生産推奨品目の作付面積(累計)	単位 ha				
目的	推奨品目の生産規模拡大により、市場の要望へ対応し、特産化を図る。					
担当所属	農政企画課	基準値(H27)		97		
年度	H29	H30		R1	R2	R3
目標値	114	122		130	138	146
実績値	133.8	137.2		140.4	142.6	
算出根拠	推奨品目の作付面積の合計					
数値目標	70 新規就農者数(累計)	単位 人				
目的	農業への定着を促進することで、意欲ある担い手を確保し、地域農業の活性化を図る。					
担当所属	農政企画課	基準値(H27)		19		
年度	H29	H30		R1	R2	R3
目標値	29	34		39	44	49
実績値	37	50		56	62	
算出根拠	新規で青年就農給付金もしくは就農奨励金等の給付があった就農者の件数					

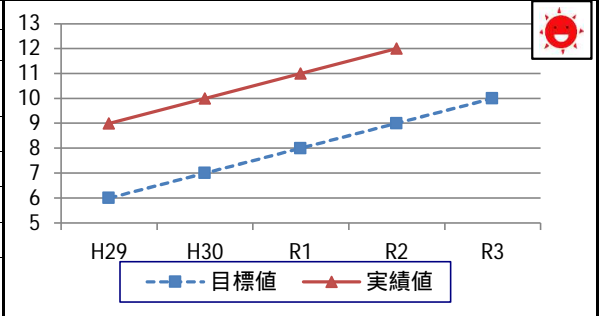
施策 28 伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する

数値目標	71 森林組合の新規就業者数(累計) (林業新規就業者含む)	単位 人				
目的	林業への定着を促進することで、意欲ある担い手を確保し、林業の活性化を図る。					
担当所属	林業水産課	基準値(H27)		23		
年度	H29	H30		R1	R2	R3
目標値	25	27		29	31	33
実績値	36	39		44	43	
算出根拠	福井森林組合、美山町森林組合、丹生郡森林組合への聞き取りによる森林組合への新規就業者数(林業への就業者含む)					

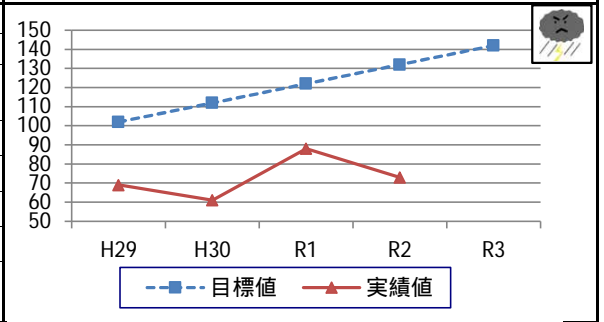
数値目標	72 間伐面積 (除伐面積含む)					単位 ha
目的	林家の生産意欲低下を抑制し、持続的で多面的な森林機能を保持する。					
担当所属	林業水産課		基準値(H27) 381			
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	400	400	400	400	400	
実績値	422	355	419	396		
算出根拠	間伐及び除伐した整備面積					



数値目標	73 漁業新規就業者数 (累計)					単位 人
目的	漁業への定着を促進することで、意欲ある担い手を確保し、漁業の活性化を図る。					
担当所属	林業水産課		基準値(H27) 5			
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	6	7	8	9	10	
実績値	9	10	11	12		
算出根拠	福井市漁業協同組合、越廼漁業協同組合への聞き取りによる漁業新規就業者数					

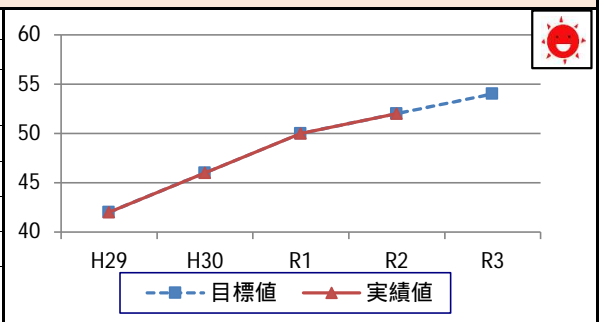


数値目標	74 小規模漁船漁業生産額					単位 百万円
目的	小規模漁船漁業を営む個人事業者の新規加入や代替わりが促進され、漁業従事者減少の抑制を図る。					
担当所属	林業水産課		基準値(H27) 92			
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	102	112	122	132	142	
実績値	69	61	88	73		
算出根拠	漁業種別生産額全体から定置網漁業・底曳網漁業の生産額を差し引いた額					

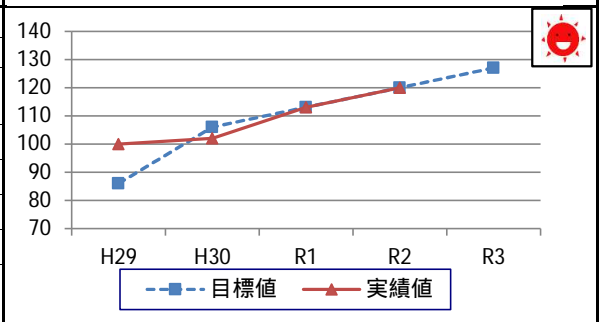


施策 2.9 農産物のブランド化と需要を拡大する

数値目標	75 新たに6次産業に取り組む経営体数 (累計)					単位 件
目的	経営の多角化と流通販路の開拓により、農業従事者の所得向上を図る。					
担当所属	農政企画課		基準値(H27) 34			
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	42	46	50	52	54	
実績値	42	46	50	52		
算出根拠	6次産業化普及促進事業による補助件数					



数値目標	76 地域ブランド品販売額					単位 百万円
目的	地域ブランド品を産地化することにより、安定的な生産の確保と販路開拓に繋がり、本市の農産物の認知度向上を図る。					
担当所属	農政企画課		基準値(H27) 66			
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	86	106	113	120	127	
実績値	100	102	113	120		
算出根拠	JAのルートにより市場や直売所で地域ブランド品が販売された額					



数値目標	77 学校給食における市内産農産物の使用品目数				単位 品目	
目的	若い世代の望ましい食習慣の形成と地産地消を推進する。					
担当所属	農政企画課	基準値(H27)			20	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	22	24	25	25	25	
実績値	21	23	25	19		
算出根拠	小中学校給食において使用された市内産農産物の品目数					
数値目標	78 新たに販路開拓に取り組む事業者数(累計)				単位 件	
目的	本市の食材の認知度が高まることにより、取引量が増加し、農家の所得向上や生産意欲の向上を図る。					
担当所属	農政企画課	基準値(H27)			-	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	5	10	15	20	25	
実績値	5	10	15	20		
算出根拠	新規の販売ルートの開拓に取り組んだ事業者数					
数値目標	79 市場の生鮮食料品取扱高				単位 億円	
目的	安定的な取扱高を確保することにより、市民への新鮮な食品の安定供給を図る。					
担当所属	中央卸売市場	基準値(H27)			215	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	215	215	215	215	215	
実績値	198.2	178.2	167.9	160.4		
算出根拠	市場の生鮮食料品の取扱高					
施策 30 農山漁村の生活環境を守る						
数値目標	80 農村の基盤整備、保全活動に取り組んだ集落数(農家組合数)(累計)				単位 集落	
目的	農村の基盤整備、保全活動の取組を推進することにより、将来の農業経営の転換を図る。					
担当所属	農村整備課	基準値(H27)			250	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	260	270	280	290	300	
実績値	268	276	280	290		
算出根拠	多面的機能支払交付金、市単独土地改良事業補助金、小規模県単独土地改良事業補助金により支援した集落数					
数値目標	81 有害鳥獣による農作物の被害金額				単位 千円	
目的	被害金額の減少により、農業への従事意欲の向上を図る。					
担当所属	有害鳥獣対策室	基準値(H27)			16,287	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	14,100	13,100	12,200	11,300	10,500	
実績値	13,195	13,759	19,749	10,979		
算出根拠	農作物被害状況調査による被害金額					

政策	9 活力と魅力あふれる商工業が発展しつづけるまちをつくる
----	------------------------------

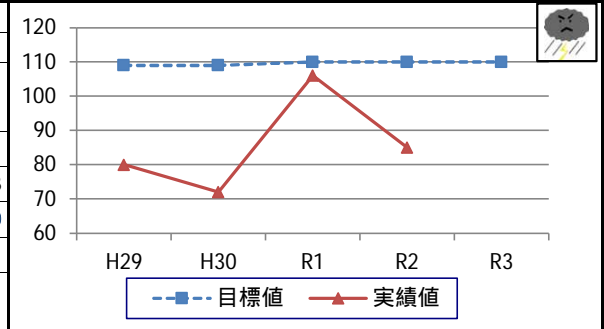
施策		31 地域の商工業を振興する				
数値目標	82 マーケット開発支援事業による支援件数(累計)	単位 件				
目的	市内中小企業者の事業が拡大することにより、地域産業の振興を図る。					
担当所属	商工振興課	基準値(H27) 57				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	150	225	300	375	450	
実績値	109	147	245	455		
算出根拠	各種支援メニューにより支援した件数の合計					
数値目標	83 新事業の創出件数(累計)	単位 件				
目的	本市産業に好影響を及ぼす新事業の創出が促進されることにより、本市経済の好循環と拡大を図る。					
担当所属	商工振興課	基準値(H27) 2				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	4	5	6	7	8	
実績値	5	6	7	9		
算出根拠	新事業創出支援事業の支援件数					
数値目標	84 企業立地支援指定数	単位 社				
目的	企業立地を推進することで、産業の発展を促すとともに、新たな雇用の場を創出する。					
担当所属	商工振興課	基準値(H27) 4				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	4	5	5	6	6	
実績値	13	14	15	11		
算出根拠	企業立地助成金などの指定をした年度ごとの企業数					
施策		32 創業の促進と事業承継の円滑化を支援する				
数値目標	85 市内での創業者数(累計)	単位 人				
目的	様々なビジネスが生まれることにより、市民生活の利便性向上と、経済の好循環を促進する。					
担当所属	商工振興課	基準値(H27) -				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	80	160	240	320	400	
実績値	76	167	261	275		
算出根拠	福井市創業支援事業計画に掲載された事業に参加した人が創業した件数					
数値目標	86 事業承継相談者数	単位 件				
目的	中小企業者の事業承継に関する悩みや課題を解決することにより、事業者の事業承継の円滑化を図る。					
担当所属	商工振興課	基準値(H27) -				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	5	5	5	5	5	
実績値	5	6	8	0		
算出根拠	市の窓口における事業承継の相談件数					

施策		33 福井で働くことを応援する				
数値目標	87 U・Iターン就職促進事業を利用して就職した学生及び社会人の数	単位 人				
目的	本市へのU・Iターン就職者が増加することにより、労働力の確保と雇用の安定化を図る。					
担当所属	しごと支援課	基準値(H27)			3	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	60	60	60	60	60	
実績値	49	63	55	39		
算出根拠	大学生を対象としたサマーキャンプ事業等に参加し、後に市内企業に就職した人、及び社会人を対象としたU・Iターン雇用奨励金を受けた人の合計人数					
数値目標	88 就職支援事業を利用して就職した若者及び女性の数	単位 人				
目的	若者の雇用の安定と女性の活躍の促進により、地域経済の活性化を図る。					
担当所属	しごと支援課	基準値(H27)			76	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	110	110	110	110	110	
実績値	110	91	111	43		
算出根拠	奨励金及び助成金制度並びに就職支援事業の利用者のうち市内企業への就職者数					
数値目標	89 ワークライフバランス推進事業による支援企業数	単位 社				
目的	離職防止による企業の人材確保と、長時間労働の抑制による労働生産性の向上を図る。					
担当所属	しごと支援課	基準値(H27)			5	
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	35	35	35	35	35	
実績値	35	54	60	46		
算出根拠	ワークライフバランス推進事業に取り組む企業数					

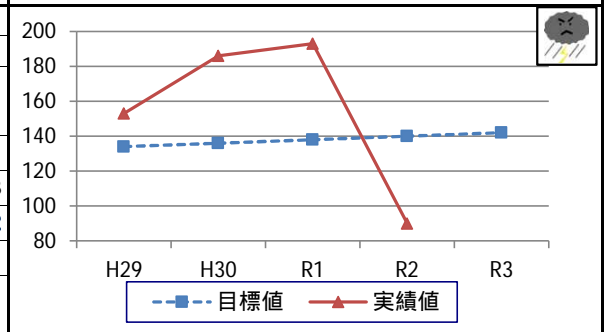
政策	10 観光資源を磨き上げおもてなしの心があふれる観光のまちをつくる
----	-----------------------------------

施策	34 文化や自然を活かした観光資源を磨き上げ発信する
-----------	-----------------------------------

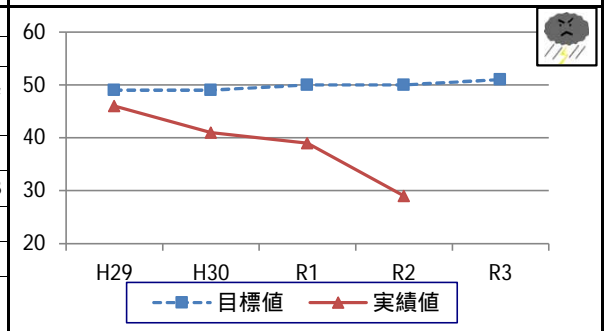
数値目標	90 一乗谷観光客入込数	単位 万人			
目的	別格の観光地としての一乗谷ブランドを磨き上げるにより、観光客の満足度向上を図る。				
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) 108			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	109	109	110	110	110
実績値	80	72	106	85	
算出根拠	復原町並や遺跡、一乗滝等に至る広域エリアを算出対象とし、復原町並及び県立朝倉氏遺跡資料館の入場者数の実数に係数を乗じて推計				



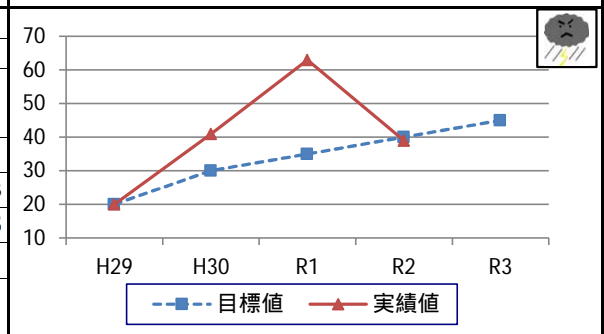
数値目標	91 まちなか観光客入込数	単位 万人			
目的	観光資源の充実と利便性の向上により、まちなかの滞在時間の延長と周遊性の向上を図る。				
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) 129			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	134	136	138	140	142
実績値	153	186	193	90	
算出根拠	養浩館庭園やおさごえ民家園など、市街地にある観光施設の利用者数をもとに、一部係数を乗じて推計				



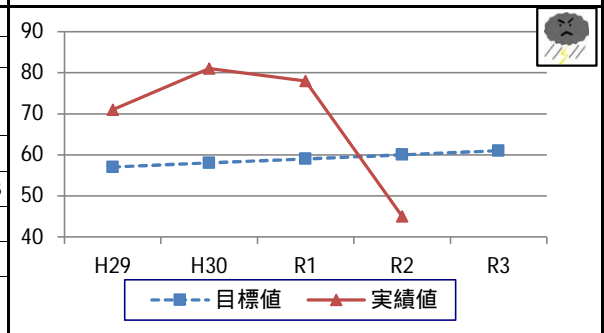
数値目標	92 越前海岸観光客入込数	単位 万人			
目的	越前海岸の知名度向上により、ブランド力が高まるとともに、越前海岸を訪れる観光客の増加を図る。				
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) 47			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	49	49	50	50	51
実績値	46	41	39	29	
算出根拠	地区観光協会へ、海水浴場や越前水仙の里公園など、越前海岸周辺にある観光施設の利用者数を聞き取り、一部係数を乗じて推計				



数値目標	93 体験交流型観光メニュー数(累計)	単位 個			
目的	様々な体験交流型メニューを提供することにより、市内観光の滞在時間延長を図る。				
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) -			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	20	30	35	40	45
実績値	20	41	63	39	
算出根拠	市作成の「観光素材集」に掲載する、体験・交流型観光メニューの数				



数値目標	94 市内宿泊者数	単位 万人			
目的	宿泊者数が増加することにより、観光消費額の増大を図る。				
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) 55			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	57	58	59	60	61
実績値	71	81	78	45	
算出根拠	宿泊者数を把握できる宿泊施設への聞き取り数と市内観光入込客数に係数を乗じて推計した数の合計				

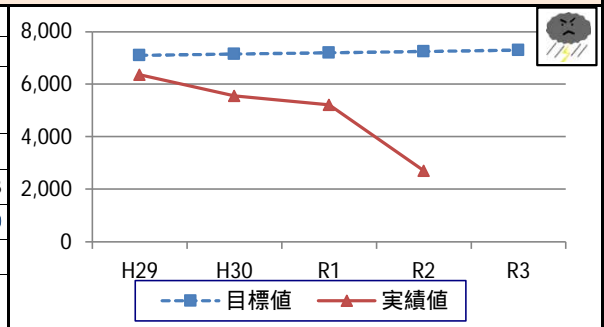


施策		35 観光を通してイメージアップを推進する				
数値目標	95 市内観光消費額	単位 億円				
目的	観光消費額が増大することにより、地域経済が活性化し、市内全域への経済効果の波及を促進する。					
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) 231				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	240	245	250	255	260	
実績値	260	287	294	161		
算出根拠	市内観光入込客数を県外・県内容、日帰り・宿泊客に分け、それぞれに1人あたりの平均観光消費額の単価(県のデータを参照)を乗じた合計により推計					
数値目標	96 コンベンション開催件数	単位 件				
目的	コンベンションの開催が増えることにより、市内での宿泊者が増え、観光消費額の増大を図る。					
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) 119				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	130	135	140	145	150	
実績値	110	103	88	0		
算出根拠	財団法人福井観光コンベンションビューローが、コンベンション開催助成金を交付した件数					
数値目標	97 外国人宿泊者数	単位 人				
目的	外国人観光客を増やすことにより、本市への新たなビジターが増え、にぎわいと観光消費額の増大を図る。					
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) 10,500				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	13,000	14,000	15,000	16,000	17,000	
実績値	15,800	22,800	25,400	4,064		
算出根拠	市内宿泊施設等への直接調査による人数					
施策		36 おもてなしの充実を図る				
数値目標	98 福井市を訪れた人の好意的な意見の割合	単位 %				
目的	本市を訪れた人に、市民総ぐるみのおもてなし運動を好意的に受けとめてもらえることにより、本市への観光リピーターの増加に繋げる。					
担当所属	おもてなし観光推進課	基準値(H27) 85.0				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	89.0	91.0	93.0	95.0	95.0	
実績値	92.4	93.4	94.4	91.2		
算出根拠	市に好意的な意見の数 / おもてなし体験便り 返送数×100 (市内の主要観光施設や宿泊施設等に返信用ハガキ付きのおもてなし体験日より募集チラシを設置し、観光客からの体験談を募集)					

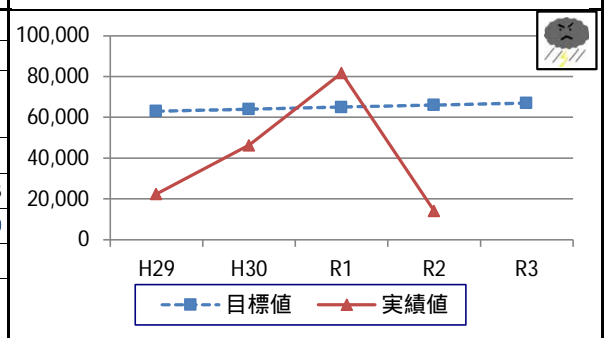
政策	11 郷土の文化や歴史、自然を活かした個性的で魅力あるまちをつくる
----	-----------------------------------

施策 37 市民の誇りとなる文化芸術を振興する

数値目標	99 市民文化祭参加者数	単位 人
目的	多くの市民が芸術文化活動に接することで、芸術文化への関心が高まるとともに、担い手の育成と文化振興を図る。	
担当所属	文化振興課	基準値(H27) 7,058
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	7,100 7,150 7,200 7,250 7,300	
実績値	6,356 5,558 5,216 2,706	
算出根拠	展示会場来場者+茶道・聞香会入席者+将棋大会参加者+芸能大会入場者+体験企画参加者数の総数	

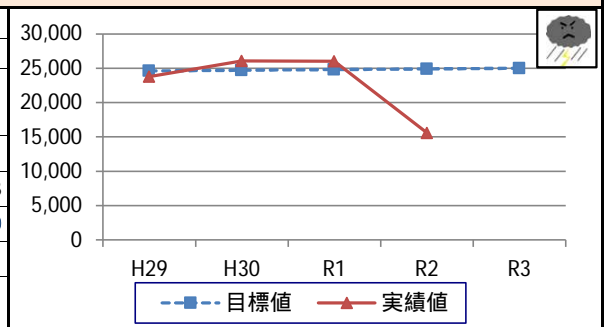


数値目標	100 美術館企画展の入場者数	単位 人
目的	魅力的な企画展を開催することにより入場者を増やし、本市の文化芸術の振興を図る。	
担当所属	美術館	基準値(H27) 19,388
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	63,000 64,000 65,000 66,000 67,000	
実績値	22,410 46,314 81,659 14,000	
算出根拠	企画展の来場者数	

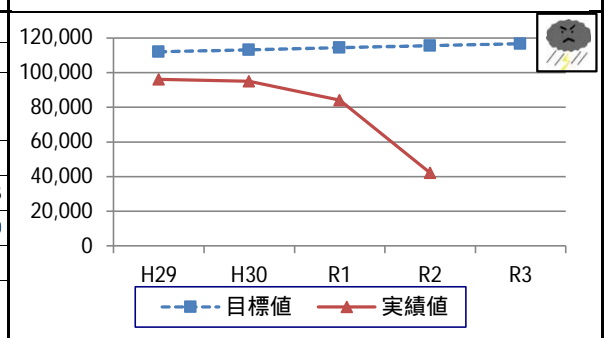


施策 38 歴史や文化遺産を保存・継承し活用する

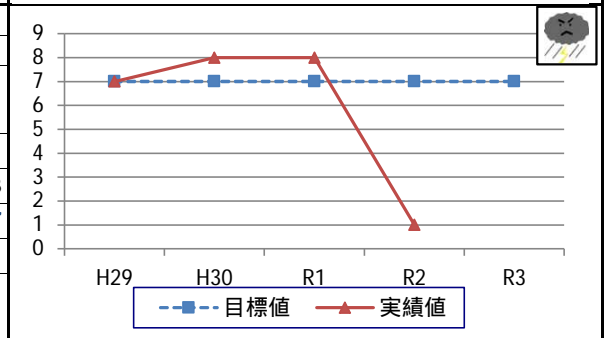
数値目標	101 郷土歴史博物館企画展の入場者数	単位 人
目的	魅力的な企画展を開催することにより入場者を増やし、多くの人に福井の歴史・文化の素晴らしさを伝える。	
担当所属	郷土歴史博物館	基準値(H27) 24,300
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	24,600 24,700 24,800 24,900 25,000	
実績値	23,782 26,065 26,002 15,575	
算出根拠	企画展及び特別陳列の入場者数	



数値目標	102 文化施設の入場者数	単位 人
目的	養浩館庭園や愛宕坂界隈の歴史や文化を活かし、魅力を発信することで、まちなから足羽山への回遊性を向上させ、観光客等の増加を図る。	
担当所属	文化振興課	基準値(H27) 101,643
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	112,020 113,190 114,360 115,530 116,700	
実績値	96,094 94,960 84,180 42,127	
算出根拠	養浩館庭園、愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館、グリフィス記念館の総入場者数	



数値目標	103 無形民俗文化財各種行事の開催件数	単位 件
目的	無形民俗文化財の継承を図る。	
担当所属	文化財保護課	基準値(H27) 7
年度	H29 H30 R1 R2 R3	
目標値	7 7 7 7 7	
実績値	7 8 8 1	
算出根拠	国・県・市指定及び国選択無形民俗文化財の行事開催件数 (睦月神事、糸崎の仏舞、国山の神事、馬鹿ばやし、花山行事、したんじょう行事、じじくれ祭、オンッサマのお渡り、免鳥夜網節)	

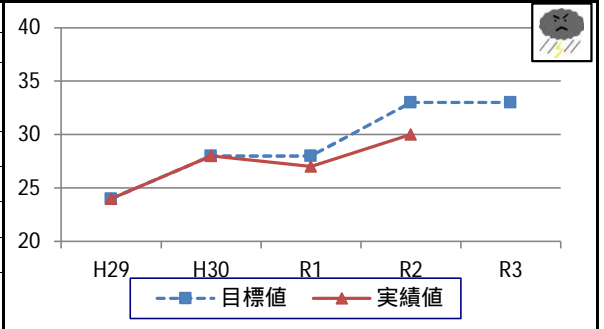


施策		39 自然科学教育で子どもの夢を育てる				
数値目標	104 自然史博物館及びセーレンプラネットの入場者数	単位				
目的	自然史博物館とセーレンプラネットを、質の高い自然科学博物館とすることで、市民の郷土の自然や環境に対する関心を高めるとともに、観光客等に本市をPRする。					
担当所属	自然史博物館	基準値(H27)	19,325(分館除く)			
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	125,000	127,000	128,000	129,000	130,000	
実績値	115,617	133,097	114,611	64,000		
算出根拠	自然史博物館及びセーレンプラネットの入場者数					

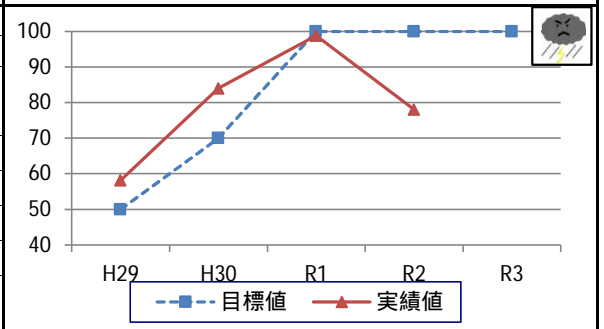
政策	12 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる
----	---------------------------------

施策 40 子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する

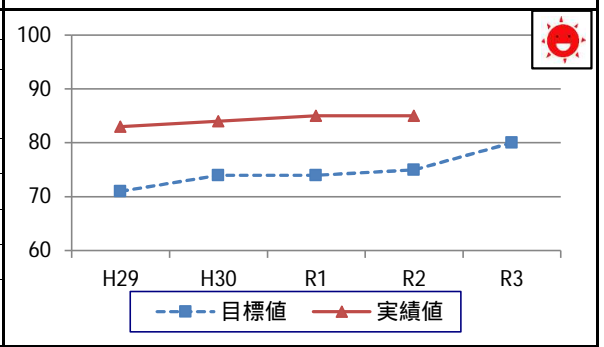
数値目標	105 外国語活動の授業にALT(外国語指導助手)等が訪問する回数	単位 回			
目的	早期段階から、外国や異文化に興味を持つ子どもの育成を図る。				
担当所属	学校教育課	基準値(H27) 24			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	24	28	28	33	33
実績値	24	28	27	30	
算出根拠	小学3・4年生対象の年間授業回数				



数値目標	106 小中学校でのキャリア教育プログラムを活用した学級の割合	単位 %			
目的	企業等の人づくり・ものづくりの視点が、学校教育における様々な学習と結び付くことにより、社会・職業との関連を重視した実践的・体験的な活動の充実を図る。				
担当所属	学校教育課	基準値(H27) -			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	50	70	100	100	100
実績値	58.2	84.0	98.8	78.0	
算出根拠	キャリア教育プログラム活用した学級数 / 小2・小5・中1の全学級数 × 100				

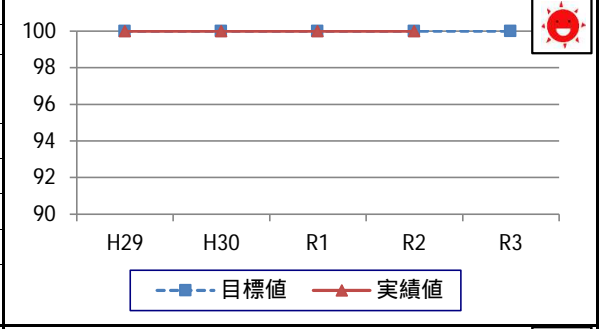


数値目標	107 いきいきサポーター配置人数(累計)	単位 人			
目的	児童生徒一人ひとりのニーズに応じた個別の支援が行われることにより、すべての児童生徒が楽しく有意義な学校生活を送ることを支援する。				
担当所属	学校教育課	基準値(H27) 65			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	71	74	74	75	80
実績値	83	84	85	85	
算出根拠	いきいきサポーターの配置人数 (発達障がいなどの傾向があり、集団での活動が苦手な児童生徒に対して、学習支援や生活指導、学校生活に関わる諸問題の指導支援を行う非常勤職員)				

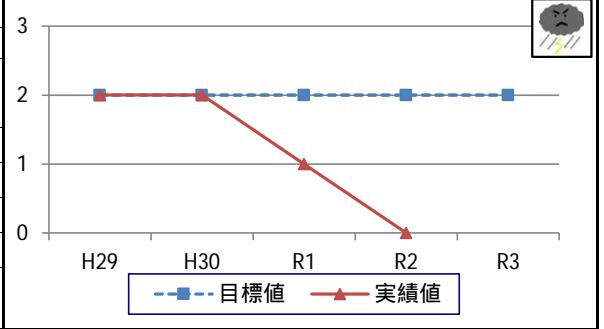


施策 41 子どもの健康増進を図る

数値目標	108 児童・生徒自らが考え行動できる学校防災教育の実施率	単位 %			
目的	避難訓練の実施により防災に必要な知識の習得ができ、また訓練の事前・事後に指導を行うことで、子どもが主体的に判断し行動する力を養成する。				
担当所属	保健給食課	基準値(H27) 100			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100	100	
算出根拠	避難訓練を実施した小中学校数 / 全小中学校数 × 100				



数値目標	109 トップアスリートや一流指導者による実技指導の回数	単位 回			
目的	全ての生徒に、トップアスリートや一流指導者から直接指導を受ける機会を提供することにより、保健体育全体の底上げ、及び顧問教諭の指導力向上を図る。				
担当所属	保健給食課	基準値(H27) 2			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	2	2	2	2	2
実績値	2	2	1	0	
算出根拠	プロスポーツや国体経験者等を招いて実施する実技指導の回数				

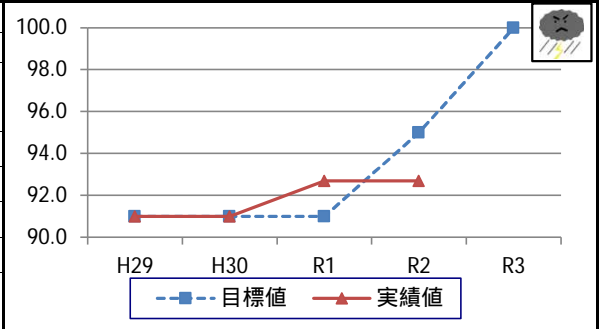


数値目標	110 学校給食における和食給食の割合	単位 %				
目的	子ども達が「和食」という日本人の伝統的な食文化を維持・継承していく大切さを学び、理解することで、次世代へ和食文化を伝え、継承することを促進する。					
担当所属	保健給食課	基準値(H27)		56.6		
年度	H29	H30		R1	R2	R3
目標値	57	58		59	60	60
実績値	57.9	58.6		59.1	59.7	
算出根拠	和食給食日 / 給食日 × 100					
施策	42 子どもの健全な育成を図る					
数値目標	111 保護者や地域と連携した授業に招いたゲストティーチャーの人数(1学級当たり)	単位 人				
目的	保護者や地域と連携し、体験学習の充実や地域人材の活用を推進することで、郷土への誇りと愛着を持つ子どもの育成を図る。					
担当所属	学校教育課	基準値(H27)		11		
年度	H29	H30		R1	R2	R3
目標値	11	11		11	11	11
実績値	13	14		10	6	
算出根拠	(小学校に招いたゲストティーチャーの延べ人数 / 小学校全学級数) + (中学校に招いたゲストティーチャーの延べ人数 / 中学校全学級数)					
数値目標	112 少年自然の家施設利用者数	単位 人				
目的	自然体験学習を通じて、郷土愛を醸成し、豊かな感情を持つ子どもを育成する。					
担当所属	青少年課少年自然の家	基準値(H27)		11,129		
年度	H29	H30		R1	R2	R3
目標値	10,000	11,300		11,300	11,300	11,300
実績値	10,427	12,833		11,816	3,200	
算出根拠	施設利用者数					
施策	43 学びの場としての学校環境を整備する					
数値目標	113 窓ガラス飛散防止対策実施率	単位 %				
目的	窓ガラス飛散による危険性を無くすことにより、災害時の安全性や防災性の高い環境を提供する。					
担当所属	教育総務課	基準値(H27)		-		
年度	H29	H30		R1	R2	R3
目標値	43.1	68.6		98.0	100.0	
実績値	43.1	56.9		74.5	84.3	
算出根拠	窓ガラス飛散防止実施体育館 / 拠点避難所に指定された体育館 × 100					
数値目標	114 通学路照明灯の設置率	単位 %				
目的	夜間の暗い通学路を減少させることにより、子どもの安全性の向上を図る。					
担当所属	保健給食課	基準値(H27)		88.0		
年度	H29	H30		R1	R2	R3
目標値	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0
実績値	100.0	100.0		100.0	100.0	
算出根拠	設置基数 / 設置基準を満たす要望 基数 × 100 (各学校から市に設置の要望がある)					

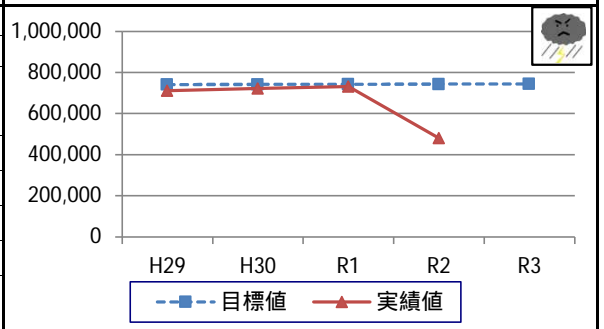
政策	13 市民が自主的に生涯学習や生涯スポーツを楽しむまちをつくる
----	---------------------------------

施策 44 市民の生涯学習を支援する

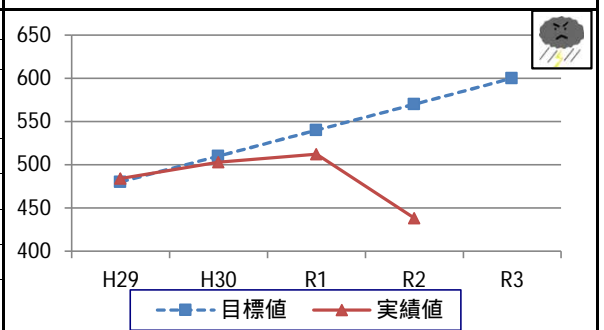
数値目標	115 公民館の耐震化率	単位	%		
目的	計画的に公民館の耐震化を図ることで、公民館が安全・安心にその機能を発揮でき、地区活動の活性化や地域課題の解決に資する場を提供する。				
担当所属	生涯学習課	基準値(H27)	91.0		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	91.0	91.0	91.0	95.0	100.0
実績値	91.0	91.0	92.7	92.7	
算出根拠	耐震化済公民館数 / 全公民館数 × 100				



数値目標	116 図書館利用者数	単位	人		
目的	図書館利用者が増えることにより、市民の読書への興味・関心が高まり、図書館が身近で暮らしに役立つ施設としての役割を果たす。				
担当所属	図書館	基準値(H27)	740,000		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	740,740	741,480	742,220	742,960	743,700
実績値	710,808	721,627	731,189	480,000	
算出根拠	移動図書館や講座、グループ学習などを含め、図書館を利用した総人数				

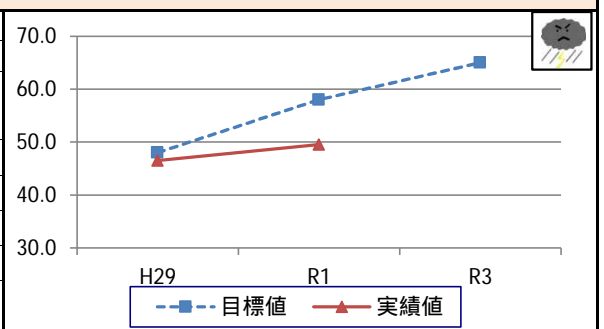


数値目標	117 「福井学」講座参加者数	単位	人		
目的	講座に参加した市民が郷土の知識を深め、興味を持つことで、福井市を積極的に発信できる人材の育成を図る。				
担当所属	生涯学習課	基準値(H27)	454		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	480	510	540	570	600
実績値	484	503	512	438	
算出根拠	中央公民館で実施する「福井学」講座の参加者数 (地域に根ざした郷土学習の取組を集約した「福井市民の誇りGUIDEBOOK」を活用)				

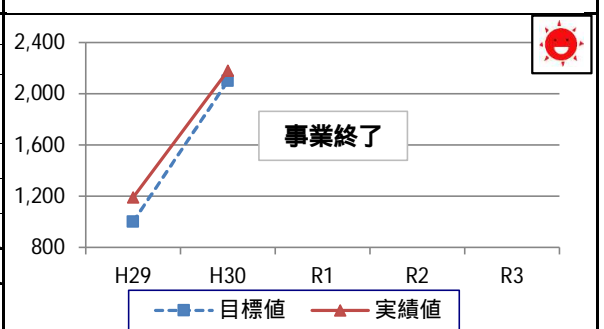


施策 45 市民の生涯スポーツを支援する

数値目標	118 週1回以上運動やスポーツをする成人の割合	単位	%		
目的	「いつでも」「どこでも」「だれでも」楽しみながら運動・スポーツに参加し、心身ともに健康で活力ある生活を送ることができる環境を整備する。				
担当所属	スポーツ課	基準値(H27)	40.9 (H26年度)		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	48.0		58.0		65.0
実績値	46.5		49.5		
算出根拠	週1回以上運動やスポーツをすると回答した成人の数 / 回答数 (2年に1度実施の県民意識調査により算出) × 100				



数値目標	119 国体ボランティア登録者数	単位	人		
目的	円滑に大会を運営する。				
担当所属	スポーツ課	基準値(H27)	-		
年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	1,000	2,100			
実績値	1,190	2,180			
算出根拠	市の国体ボランティアに登録されたボランティアの実人数				



数値目標	120 花いっぱい運動参加団体数					単位 団体
目的	歓迎ムードの高揚や景観美化を図る。					
担当所属	保健給食課	基準値(H27)		-		
年度	H29	H30	R1	R2	R3	
目標値	50	100				
実績値	57	133				
算出根拠	プランター等で花を育成する団体数					

